

JAみやぎ登米 組合員アンケート調査 結果報告書



平成 29 年 1 2 月
全国農業協同組合中央会
宮城県農業協同組合中央会

調査概要

■ 目的

正・准組合員の実態(類型、ニーズ、JAとのつながり等)の「見える化」

■ 調査テーマ

テーマ		正組合員向け	准組合員向け
組合員類型	①基本属性	性別、年齢、居住地区(支店)、同居組合員	性別、年齢、居住地区(支店)、実家、同居組合員、組合員加入時期、准組合員になった理由
	②農業	農業後継者、農業経営形態、経営品目、農産物販売額	農業との関わり、農業との関わり意向
行動	③組合員組織	組合員組織への参加	組合員組織への参加
	④JAとの接点	広報誌、来店頻度、顔なじみの職員	広報誌、来店頻度、顔なじみの職員
	⑤事業	事業の利用度、事業の利用意向、貯金の利用理由、直売所の利用理由	事業の利用度、事業の利用意向、貯金の利用理由、直売所の利用理由
	⑥活動	活動の認知・参加、不特定多数型活動の評価、特定少数型活動の評価、期待する活動	活動の認知・参加、不特定多数型活動の評価、特定少数型活動の評価、期待する活動
	⑦意思反映	会合参加、意見したいテーマ、意思反映ルート	会合参加、意見したいテーマ、意思反映ルート
	⑧運営参画	役員経験	役員経験
意識	⑨意識	JAに対する意識	JAに対する意識
	⑩期待	JAに期待する役割	JAに期待する役割

調査概要

- 実査方法

 - 郵送調査

- 実査日程

 - 平成29年9月1日～9月14日

- 対象者割付(調査票配布先)

 - 正組合員10,873名、准組合員1,607名

 - * 正・准組合員より無作為抽出

- 対象者(調査票回答者)

 - 正組合員5,803名(回収率53.4%)、准組合員514名(回収率32.0%)

- 調査実施機関

 - 全国農業協同組合中央会

 - 宮城県農業協同組合中央会

- 監修

 - 一般社団法人JC総研

対象者(調査回答状況)

資格	属性		調査回答者数 (人)	構成割合 (%)	実数 (人)	構成割合 (%)	
正組合員	担い手経営体(販売金額1,000万円以上の経営体)		225	3.9	-	-	
	中核的担い手(販売金額300万円以上1,000万円未満の経営体)		444	7.7	-	-	
	多様な担い手(販売金額300万円未満の経営体・販売あり)		2,506	43.2	-	-	
	多様な担い手(販売なし)		1,624	28.0	-	-	
	男性	49歳以下		363	6.3	1,333	9.9
		50歳～64歳		2,105	36.3	4,387	32.6
		65歳～74歳		1,778	30.6	3,155	23.5
		75歳以上		653	11.3	1,935	14.4
	女性	49歳以下		41	0.7	181	1.3
		50歳～64歳		277	4.8	813	6.0
		65歳～74歳		302	5.2	715	5.3
		75歳以上		202	3.5	921	6.9
正組合員合計			5,721	98.6	13,440	100.0	
准組合員	男性	49歳以下 ※	66	12.8	552	25.6	
		50歳～64歳	117	22.8	441	20.4	
		65歳～74歳 ※	121	23.5	282	13.1	
		75歳以上	71	13.8	242	11.2	
	女性	49歳以下	14	2.7	225	10.4	
		50歳～64歳	28	5.4	178	8.2	
		65歳～74歳	47	9.1	100	4.6	
		75歳以上	38	7.4	138	6.4	
准組合員合計			502	97.7	2,158	100.0	

※ 「准・男性・49歳以下」「准・男性・65～74歳」において、調査回答状況と実際の組合員構成に10%超の乖離が見られます。

* 未回答者がいる場合、構成割合の合計値が100%にならないことがあります。

【参考】アクティブ・メンバーシップの数値化・比較

【アクティブ・メンバーシップ(第27回JA全国大会決議より)】

組合員が積極的に組合の事業や活動に参加すること。

JAにおいては、組合員が地域農業と協同組合の理念を理解し、「わがJA」意識を持ち、積極的な事業利用と協同活動に参加すること。

【アクティブ・メンバー】

地域農業と協同組合の理念を理解し、「わがJA」意識を持ち、積極的に事業を利用し、協同活動に参加する組合員。

アクティブ・メンバーシップ数値化の配点

①JAに対する意識(30点)

「JAに親しみを感じる」(親しみ) 10点

「JAは自分にとって必要な組織だ」(必要性) 10点

「JAと企業の違いがよく分かる」(理解) 10点

*各設問5段階での回答を10点満点換算

②JA内での行動(70点)

事業利用：営農 10点、信共 10点、生活 10点

*各部門4段階での回答を10点満点換算

活動参加：1活動への参加 5点、2活動以上への参加 10点

組合員組織加入：1組織への参加 5点、2組織以上への参加 10点

意思反映：意思反映の場(総会等)への参加あり 1つ 5点、2つ以上 10点

運営参画：役員経験(組合員組織役員、理事等)あり 10点

JAみやぎ登米における組合員の特性(モデルJAとの比較)

		意識(点)				行動(点)								
		親しみ	必要性	理解	小計	事業利用			活動参加	組織加入 組合員	意思反映	運営参画	小計	
						営農	信共	生活						
配点		10	10	10	30	10	10	10	10	10	10	10	70	
正組合員	JAみやぎ登米	5.4	6.0	4.6	16.0	3.7	4.9	5.3	3.5	5.5	4.7	3.8	31.3	
	全国 (29年10月末、 75JA)	平均値	6.4	6.5	4.9	17.9	3.3	4.5	3.0	5.1	4.3	4.2	5.1	29.6
		最高値	7.9	7.7	6.2	20.9	6.5	6.8	5.7	8.1	7.2	7.6	8.4	41.4
		最低値	4.6	4.7	4.0	13.4	1.5	3.3	0.3	2.2	1.3	1.8	2.1	18.4
准組合員	JAみやぎ登米	5.3	5.1	4.2	14.6	1.3	3.5	2.9	2.6	2.1	1.0	0.7	14.2	
	全国 (29年10月末、 77JA)	平均値	6.4	5.9	4.3	16.7	1.2	3.6	2.7	4.0	1.7	0.7	1.0	15.1
		最高値	7.4	6.8	5.8	19.1	3.6	5.1	5.7	6.6	3.4	2.8	3.3	25.6
		最低値	5.2	4.9	3.4	14.1	0.2	2.3	0.1	1.4	0.1	0.0	0.1	6.7

 全国平均と比較して高い

 全国平均と比較して低い

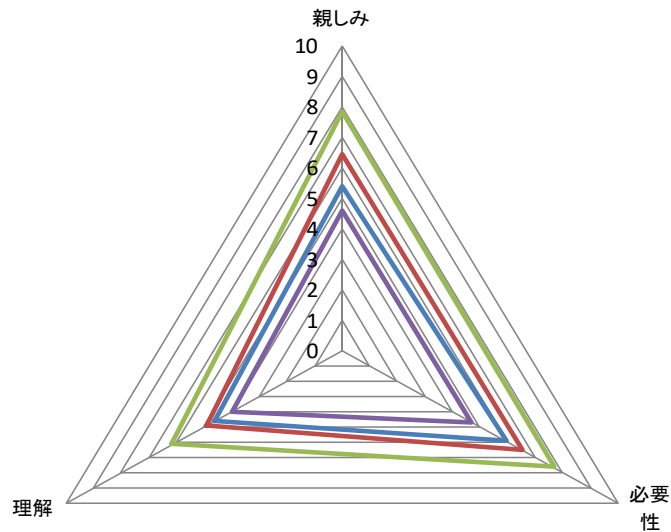
※1 「最高値」「最低値」は各項目の最高値・最低値を示したものであるため、合計しても「小計」とは必ずしも一致しません。
 ※2 本調査では、「准・男性・49歳以下」「准・男性・65～74歳」において、調査回答状況と実際の組合員構成に10%超の乖離が見られます。

正組合員の特性(全国平均との比較)

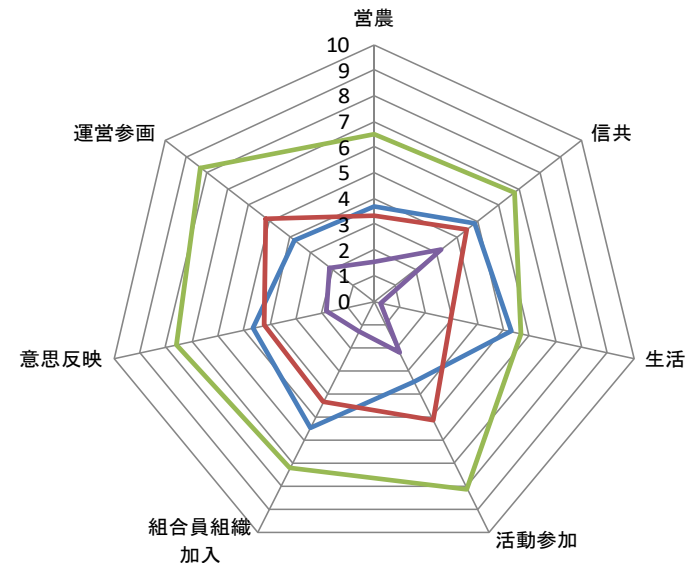
○当JAの正組合員の意識点合計は16.0点と、全国平均を2ポイント下回る。内訳をみると、「親しみ」「必要性」「理解」のいずれも全国平均を下回る。

○行動点合計は31.3点で、全国平均を2ポイント上回る。内訳をみると、事業利用では「営農」「信共」「生活」いずれも全国平均を上回り、特に「生活」が5.3点と高い。非事業面では、「組合員組織加入」、「意思反映」が全国平均を上回るものの、「活動参加」「運営参画」は全国平均を下回り低位である。

意識点



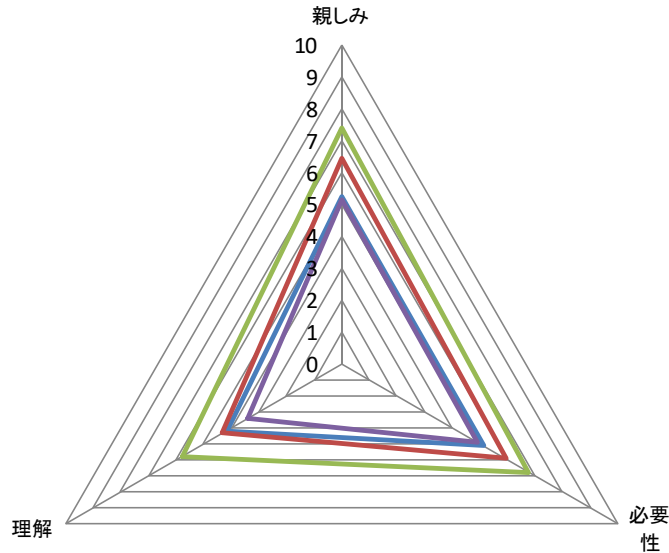
行動点



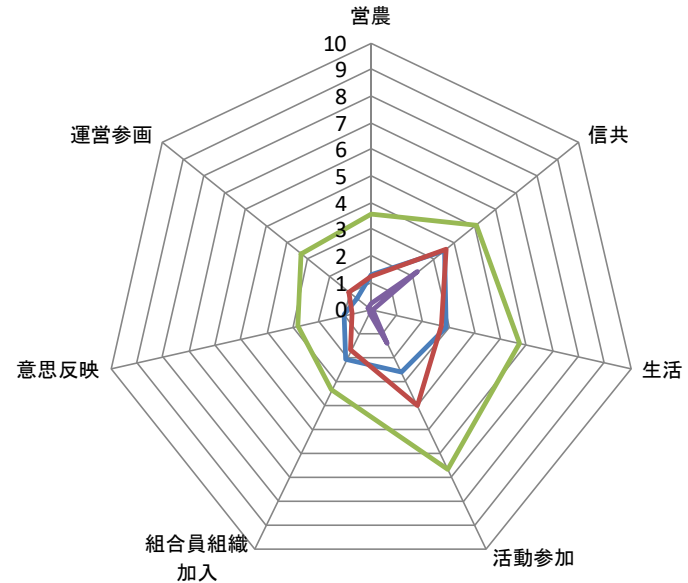
准組合員の特性(全国平均との比較)

- 当JAの准組合員の意識点合計は14.6点で、全国平均を2ポイント下回る。内訳をみると、「親しみ」「必要性」「理解」のいずれも全国平均を下回る。
- 行動点合計は14.2点で、全国平均を1ポイント下回る。内訳をみると、事業利用では「営農」「生活」は全国平均を上回るものの、「信共」では全国平均を下回る。また非事業面では、「組合員組織加入」「意思反映」では上回り、「活動参加」「運営参画」は下回り、とりわけ「活動参加」が低位である。

意識点



行動点



【組合員の期待】

- ①JAに最も期待している役割は、正組合員は『農』（地域農業の振興等）、准組合員は『食』（安心できる農産物、食料品の提供）である。
- ②正組合員は、全国平均と比較して「営農」点が高く、「営農＋信共＋生活」の複合利用率についても全国平均を上回るなど、正組合員の期待に沿った運営が一定できていると考えられる。ただし、「担い手経営体」については「営農」点で「中核的担い手」を下回っており、農協改革の観点からも課題であることから、同類型のニーズをふまえた営農関連事業の運営に一層注力が必要である。
- ③准組合員は、「Yショップ、直売所」の利用頻度は低く、「食べて応援」の実践者割合も全国平均を大きく下回る。JAへの『食』に関する期待自体も全国平均と比較してやや低位の傾向にあり、准組合員の期待に応える事業運営に一層努める必要がある。

【行動点・意識点の全国平均との比較】

- ④正組合員は、全国平均と比較して、行動点は高いが意識点が低い。事業利用や参加・参画は進んでいるが、正組合員がそのことを高く評価・意識していないと考えられる。
- ⑤准組合員は、全国平均と比較して、行動点・意識点ともに低い。
- ⑥また、正・准組合員に共通の傾向として、行動点の内訳を全国平均と比較すると、事業利用「営農」「生活」、「組合員組織加入」、「意思反映」は高く、「活動参加」「運営参画」が低くなっている。

【当JAの強み：「営農」「生活（ガソリンスタンド）」「組合員組織加入】

- ⑦正・准組合員ともに「営農」点が全国平均を上回っている、上記②のとおり、正組合員のうち「担い手経営体」の営農関連事業には課題もみられるが、当JAの正・准組合員は営農関連事業の利用がよく進んでいる。
- ⑧「ガソリンスタンド」の利用頻度が高く、正組合員は52%、准組合員は41%が月に複数回利用している。これにより、正・准組合員ともに「生活」点が高く、正組合員では事業の複合利用率が全国平均を上回り、准組合員では「信共＋生活」の利用率が高くなっている。
- ⑨正・准組合員ともに、「集落実行組合」「年金友の会」を中心として組合員組織への参加率が高い。この接点を活用し、JA理解の促進や活動参加の活性化につなげていただきたい。ただし、「運営参画」については正・准組合員ともに全国平均を下回り低位であることから、これらの組合員組織を活用した運営参画の活発化についても注力いただきたい。

【当JAの弱み：正・准組合員の意識点、「活動参加」、「食」の取り組み】

- ⑩正・准組合員ともに意識点が低い。当JAの組織基盤における最大の課題は、上記④のとおり、正組合員が行動の割に意識が低く、JAをあまり評価していないことにある。組合員ニーズを反映したJA運営を徹底するとともに、当JAの強みである事業や組合員組織、さらには訪問・活動・広報誌等を活用して、JA・協同組合・地域農業・自己改革等についての情報発信を強化し、意識点の向上に取り組んでいただきたい。
- ⑪正・准組合員ともに「活動参加」が低い。最も参加率の高い「JAみやぎ登米アグリフェスタ」「みやぎ登米のつどい（歌謡ショー）」の参加率も2～3割にとどまっている。組合員ニーズに沿った活動の企画・実践、認知向上、参加呼びかけに注力していただきたい。
- ⑫当JAでは、准組合員の最大の期待である『食』に関する取り組みが浸透しておらず、「食べて応援」の実践者割合が全国平均を大幅に下回っている。「JAみやぎ登米アグリフェスタ」や「直売所」への誘導、また『食』に関するイベントの企画・実践などを通じ、准組合員の期待に応えるJA運営に注力いただきたい。

JAみやぎ登米における組合員の特性(農業類型別、性別・年齢別)

			N数	意識(点)				行動(点)								
				親しみ	必要性	理解	小計	事業利用			活動参加	組合員 組織加入	意思反映	運営参画	小計	
								営農	信共	生活						
配点				10	10	10	30	10	10	10	10	10	10	10	70	
正組合員	農業類型	担い手経営体	225	6.8	7.8	6.2	20.8	6.1	7.2	7.2	5.6	8.6	7.0	7.9	49.6	
		中核的担い手	444	6.6	7.8	6.2	20.6	6.5	7.0	7.1	5.5	7.8	6.8	6.4	47.0	
		多様な担い手(販売あり)	2506	5.8	6.6	5.0	17.3	5.0	5.4	5.7	3.6	5.9	5.2	4.2	35.0	
		多様な担い手(販売なし)	1624	4.8	5.1	4.0	13.9	1.9	3.9	4.5	3.0	4.6	3.7	2.9	24.6	
	性別・年齢	男性	49歳以下	363	5.9	6.3	4.9	17.2	4.1	5.4	5.7	3.0	4.7	3.5	2.1	28.6
			50歳～64歳	2105	5.6	6.2	5.1	16.9	4.0	5.2	5.3	2.9	4.9	4.7	3.8	30.9
			65歳～74歳	1778	5.6	6.3	4.9	16.7	4.0	5.0	5.7	4.1	6.5	5.6	5.0	36.0
			75歳以上	653	4.6	5.3	3.7	13.5	3.1	4.2	5.1	3.9	5.8	5.1	4.8	31.9
		女性	49歳以下	41	5.2	5.9	4.1	15.2	2.6	4.1	5.7	2.4	3.7	1.8	0.7	21.0
			50歳～64歳	277	5.4	5.5	4.2	15.2	2.6	4.6	5.0	3.3	4.6	2.5	1.4	24.0
			65歳～74歳	302	4.7	5.4	3.7	13.8	2.6	4.3	5.1	4.1	5.6	3.2	1.9	26.8
			75歳以上	202	4.7	4.9	3.0	12.6	1.6	3.0	3.3	3.1	4.6	2.6	1.3	19.5
	正組合員合計(N=5803)			5721	5.4	6.0	4.6	16.0	3.7	4.9	5.3	3.5	5.5	4.7	3.8	31.3
准組合員	性別・年齢	男性	49歳以下	66	5.3	5.5	4.1	14.9	0.9	4.5	2.6	2.3	0.5	0.8	0.3	11.8
			50歳～64歳	117	5.7	5.2	4.7	15.6	1.3	3.8	3.2	2.2	1.4	0.8	0.5	13.1
			65歳～74歳	121	5.5	5.5	4.8	15.8	1.3	3.3	3.1	2.9	2.6	1.1	0.4	14.7
			75歳以上	71	4.8	4.4	3.6	12.8	1.8	2.8	2.7	2.3	2.5	1.3	1.3	14.7
	女性	49歳以下	14	4.5	4.6	3.9	13.0	0.2	4.7	3.1	2.1	0.4	1.1	0.0	11.6	
		50歳～64歳	28	4.6	4.9	3.6	13.1	1.4	2.8	2.8	2.9	2.1	0.5	0.4	12.8	
		65歳～74歳	47	5.3	5.0	4.1	14.4	1.3	3.5	3.1	3.7	3.3	1.5	1.1	17.6	
		75歳以上	38	5.0	5.1	2.8	12.9	1.3	3.3	2.1	3.2	3.7	1.3	1.3	16.3	
	准組合員合計(N=514)			502	5.3	5.1	4.2	14.6	1.3	3.5	2.9	2.6	2.1	1.0	0.7	14.2

 農業類型別、性別・年齢別での項目ごとの最高値
 農業類型別、性別・年齢別での項目ごとの最低値

※ 「准・男性・49歳以下」「准・男性・65～74歳」において、調査回答状況と実際の組合員構成に10%超の乖離が見られます。

【農業類型別】

- ①「担い手経営体」「中核的担い手」は、行動点・意識点ともに相当に高く、当JAの「アクティブ・メンバー」といえる。ただし、「担い手経営体」の事業利用は「中核的担い手」をわずかに下回り、内訳をみると「営農」で「中核的担い手」を下回っている。農協改革の観点からも課題であることから、「担い手経営体」のニーズをふまえた営農関連事業の運営に一層注力が必要である。
- ②「多様な担い手(販売なし)」は、行動点・意識点で正組合員全体を下回っている。特に意識点は准組合員全体を下回る低水準にある。同類型は、本調査の正組合員回答数の28%を占めるなど構成割合も大きいことから、正組合員全体のメンバーシップの強化のためには、同類型に焦点を当てた施策展開が不可欠である。

☞ 優先的に対応すべきターゲットは、「担い手経営体」(特に「営農」)、「多様な担い手(販売なし)」。

【正組合員:性別・年齢別】

- ③「男性・65～74歳」は、行動点・意識点ともに高く、当JAの「アクティブ・メンバー」といえる。
- ④同類型の次世代である「男性・50～64歳」は、意識点では正組合員全体を上回るものの、行動点では下回る。内訳をみると「活動参加」「組合員組織加入」が低いことから、これらの強化により、同類型のメンバーシップ強化が期待できる。同類型は正組合員の33%と構成割合も大きいことから、同類型に焦点をあてた施策展開が望ましい。

【准組合員:性別・年齢別】

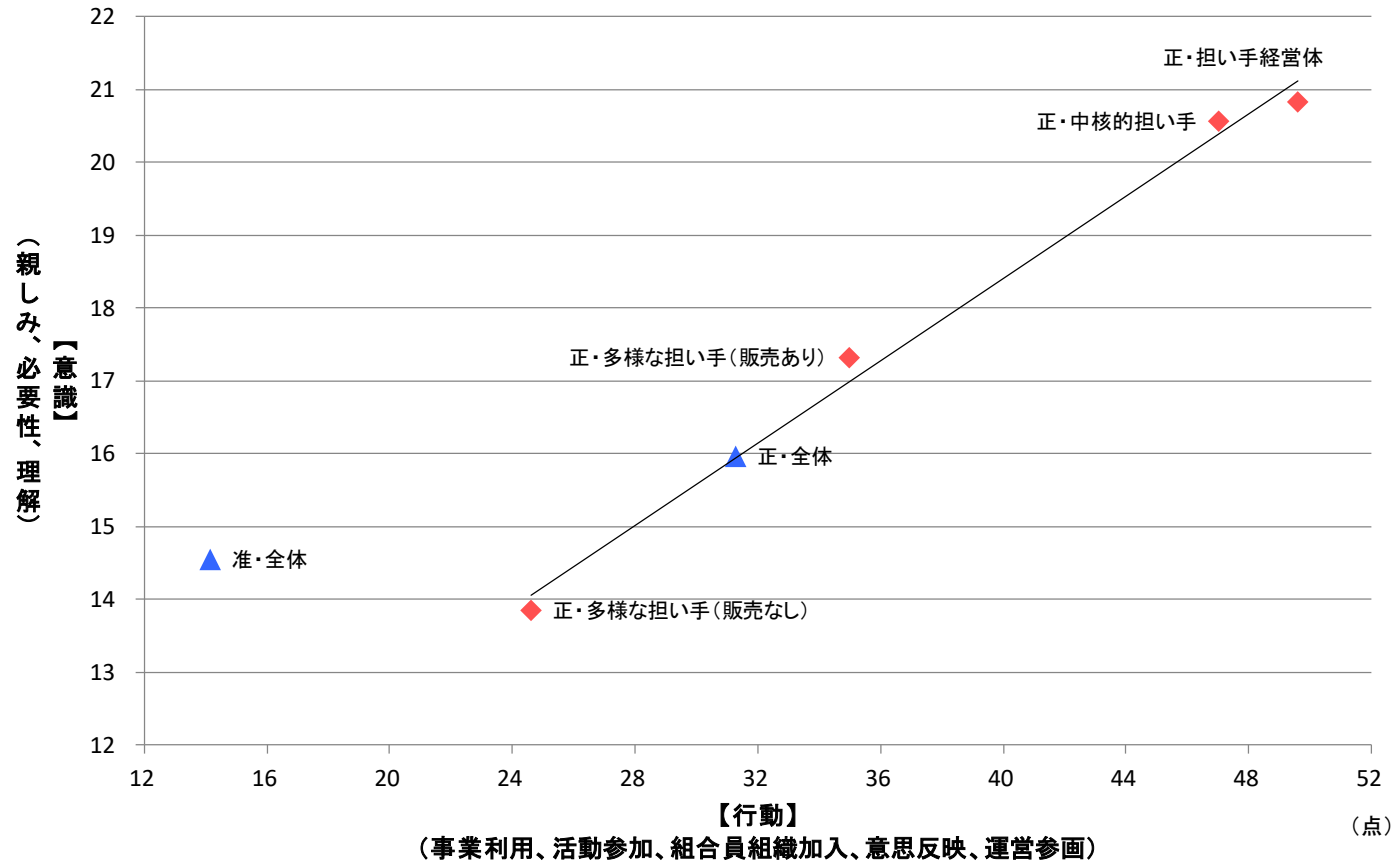
- ⑤「男性・65～74歳」は行動点・意識点ともに高く、准組合員全体を上回り、意識点は正組合員全体に近い水準にある。
- ⑥上記類型の次世代にあたる「男性・50～64歳」は、意識点は准組合員全体を上回るものの、行動点で下回る。同類型は准組合員の20%と構成割合も大きいことから、同類型に焦点をあてた施策展開が望ましい。

☞ 優先的に対応すべきターゲットは、「正・男性・50～64歳」。

正組合員のターゲット3類型に全て対応したうえで余力があれば、「准・男性・50～64歳」。

正組合員：メンバーシップ分析①(農業類型別、行動×意識)

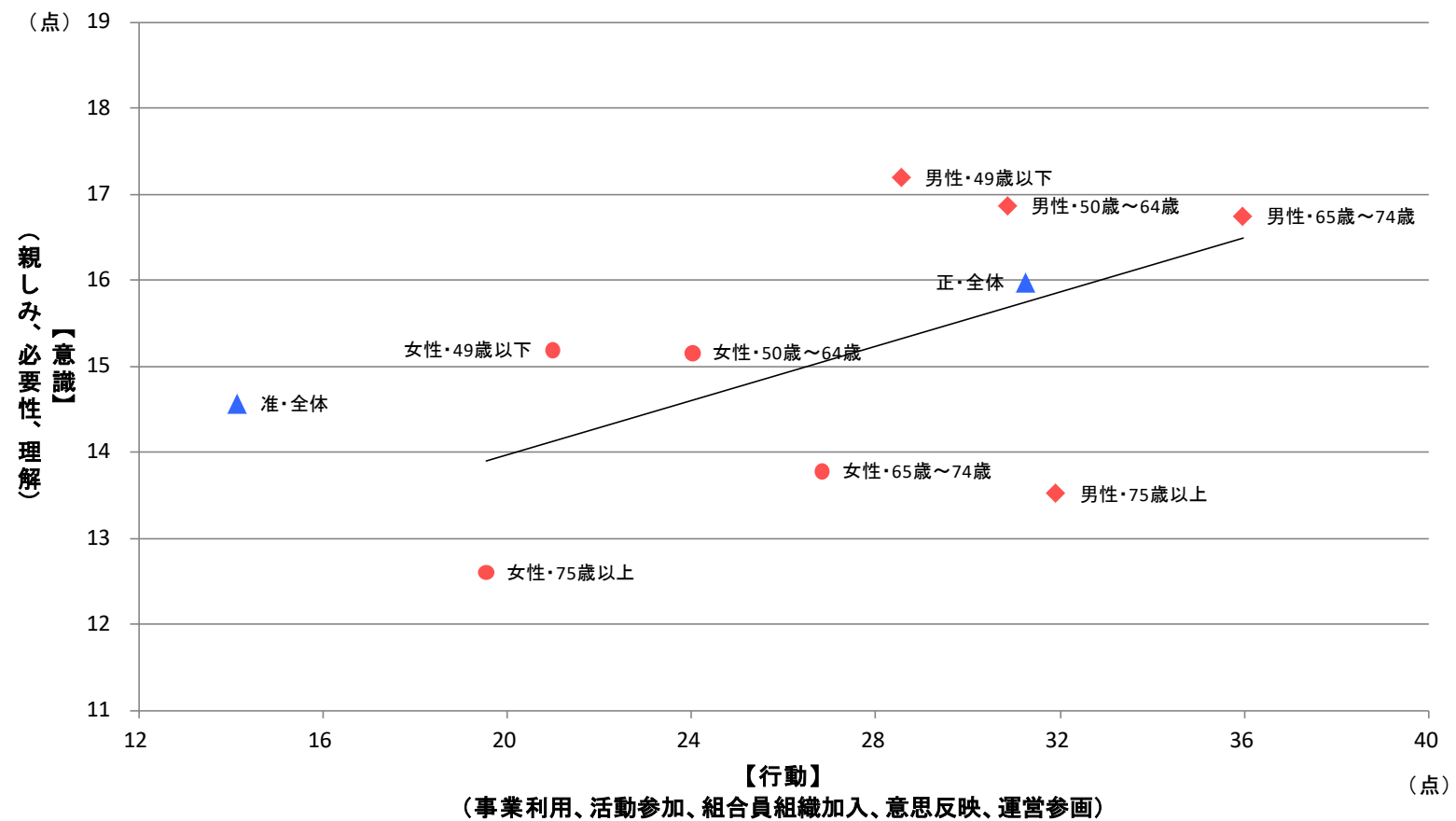
- 農業類型別にみると、農産物販売規模の大きい類型ほど行動点・意識点が高くなっている。
- 「担い手経営体」「中核的担い手」は、行動点・意識点ともに相当に高く、当JAの「アクティブ・メンバー」といえる。
- 「多様な担い手(販売なし)」は、行動点・意識点で正組合員全体を下回っている。特に意識点は准組合員全体を下回る低水準にある。同類型は、本調査の正組合員回答数の28%を占めるなど構成割合も大きいことから、正組合員全体のメンバーシップの強化のためには、同類型に焦点を当てた施策展開が不可欠である。



* 行動は70点満点、意識は30点満点

正組合員：メンバーシップ分析②(性別・年齢別、行動×意識)

- 行動点、意識点ともに男性が優位であり、女性では全ての類型が行動点・意識点ともに正組合員全体を下回る。
- 「男性・65～74歳」は、行動点・意識点ともに高く、当JAの「アクティブ・メンバー」といえる。
- また、同類型の次世代である「男性・50～64歳」は、意識点では正組合員全体を上回るものの、行動点では下回る。内訳をみると「活動参加」「組合員組織加入」が低いことから、これらの強化により、同類型のメンバーシップ強化が期待できる。同類型は正組合員の33%と構成割合も大きいことから、同類型に焦点をあてた施策展開が望ましい。
- 女性の各類型については、行動点のうち事業利用・非事業面いずれも低位であるものの、とりわけ「営農」「意思反映」「運営参画」が低位となる傾向であり、女性の参加・参画の場づくりが課題となる。

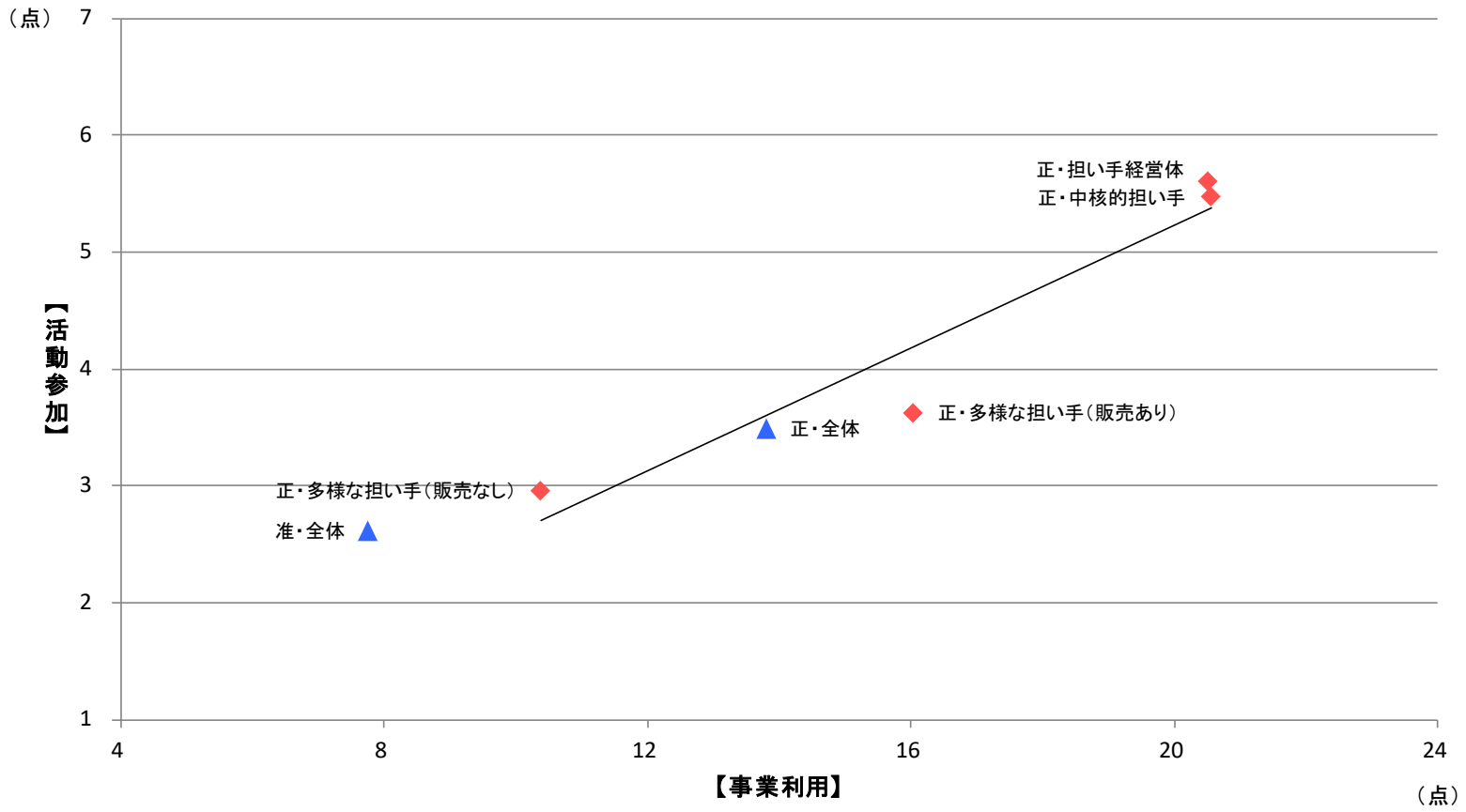


* 行動は70点満点、意識は30点満点

正組合員：メンバーシップ分析③(農業類型別、事業利用×活動参加)

○「担い手経営体」「中核的担い手」は、互いに事業利用・活動参加いずれも概ね近い水準にあり、正組合員全体を大きく上回る。ただし、「担い手経営体」の事業利用はわずかに「中核的担い手」を下回り、内訳をみると「営農」で下回る。「担い手経営体」の営農関連事業の利用拡大は農協改革の観点からも重要な課題であり、迅速な対応が求められる。

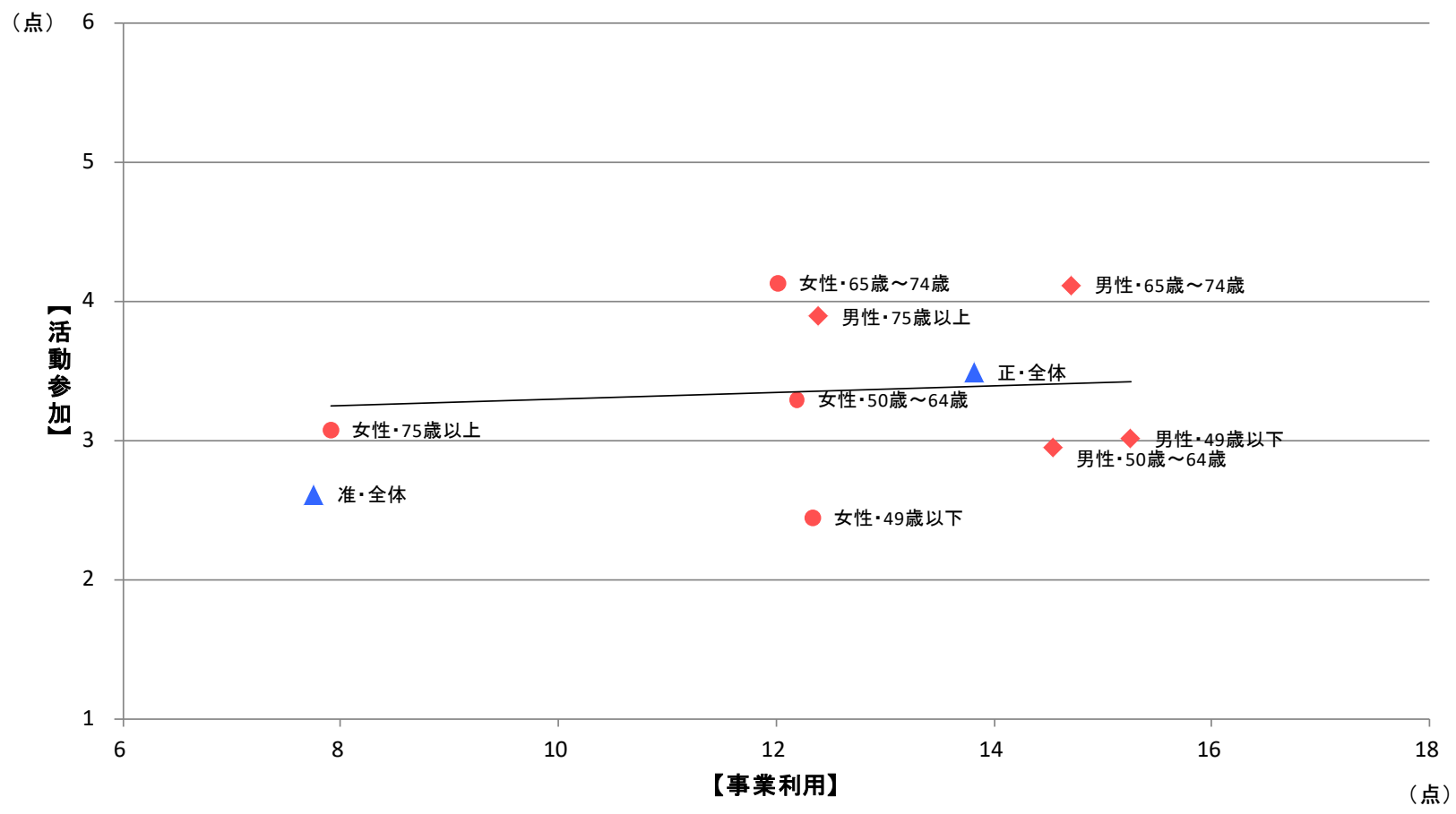
○「多様な担い手(販売なし)」は事業利用・活動参加ともに正組合員全体を下回り、活動参加については准組合員全体に近い水準となっている。同類型の事業利用・活動参加の拡大が課題である。



* 事業利用は30点満点、活動参加は10点満点

正組合員：メンバーシップ分析④(性別・年齢別、事業利用×活動参加)

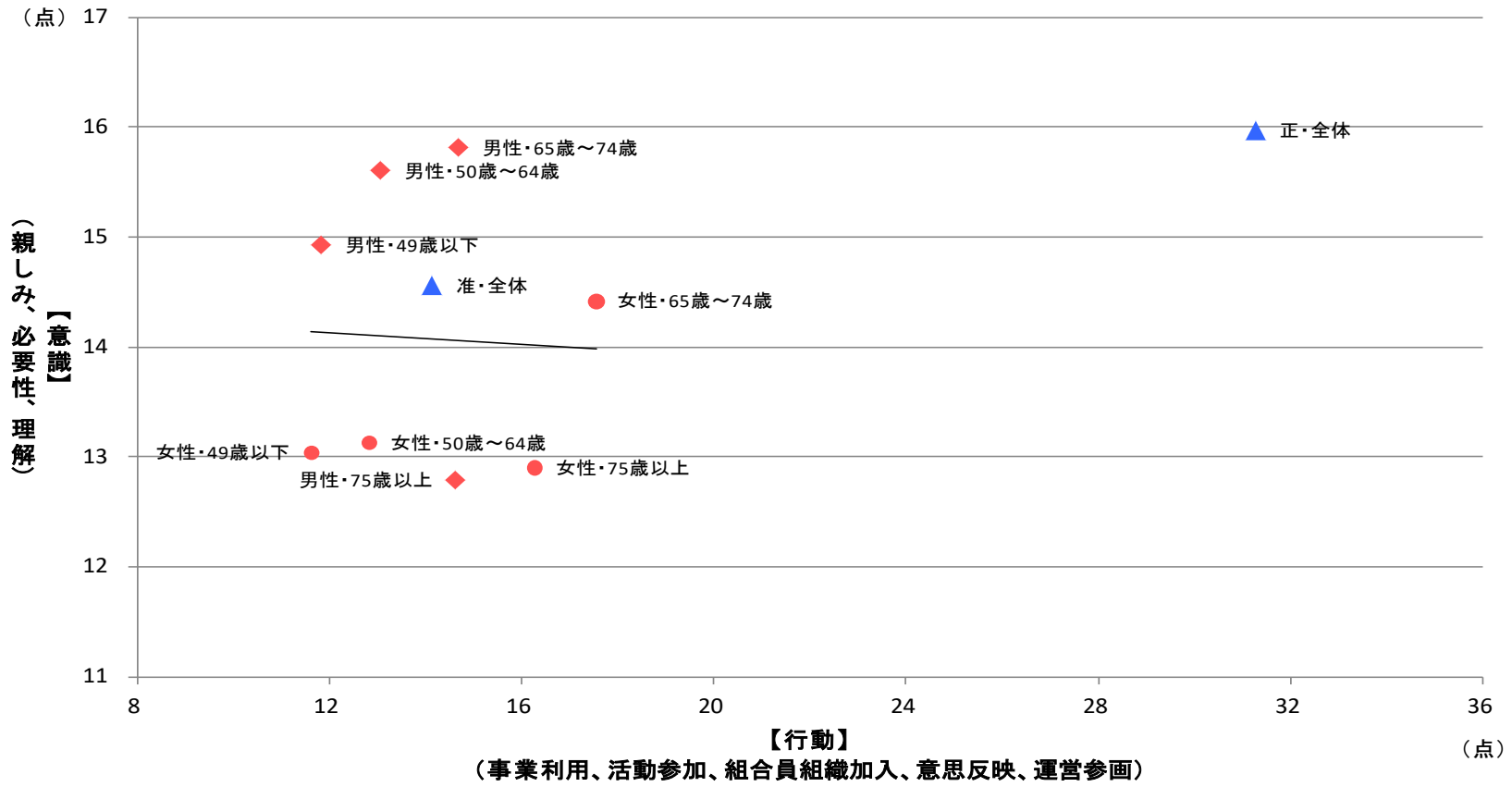
- 事業利用について、男女を比較すると、男性優位となっている。
- 「アクティブ・メンバー」である「男性・65～74歳」は、事業利用・活動参加ともに正組合員全体を上回る。
- 「男性・49歳以下」「男性・50～64歳」は事業利用では正組合員全体を上回るが、活動参加では下回っている。これらのタイプのニーズをふまえた活動の企画・実践や参加呼びかけの強化が必要である。



* 事業利用は30点満点、活動参加は10点満点

准組合員：メンバーシップ分析①(性別・年齢別、行動×意識)

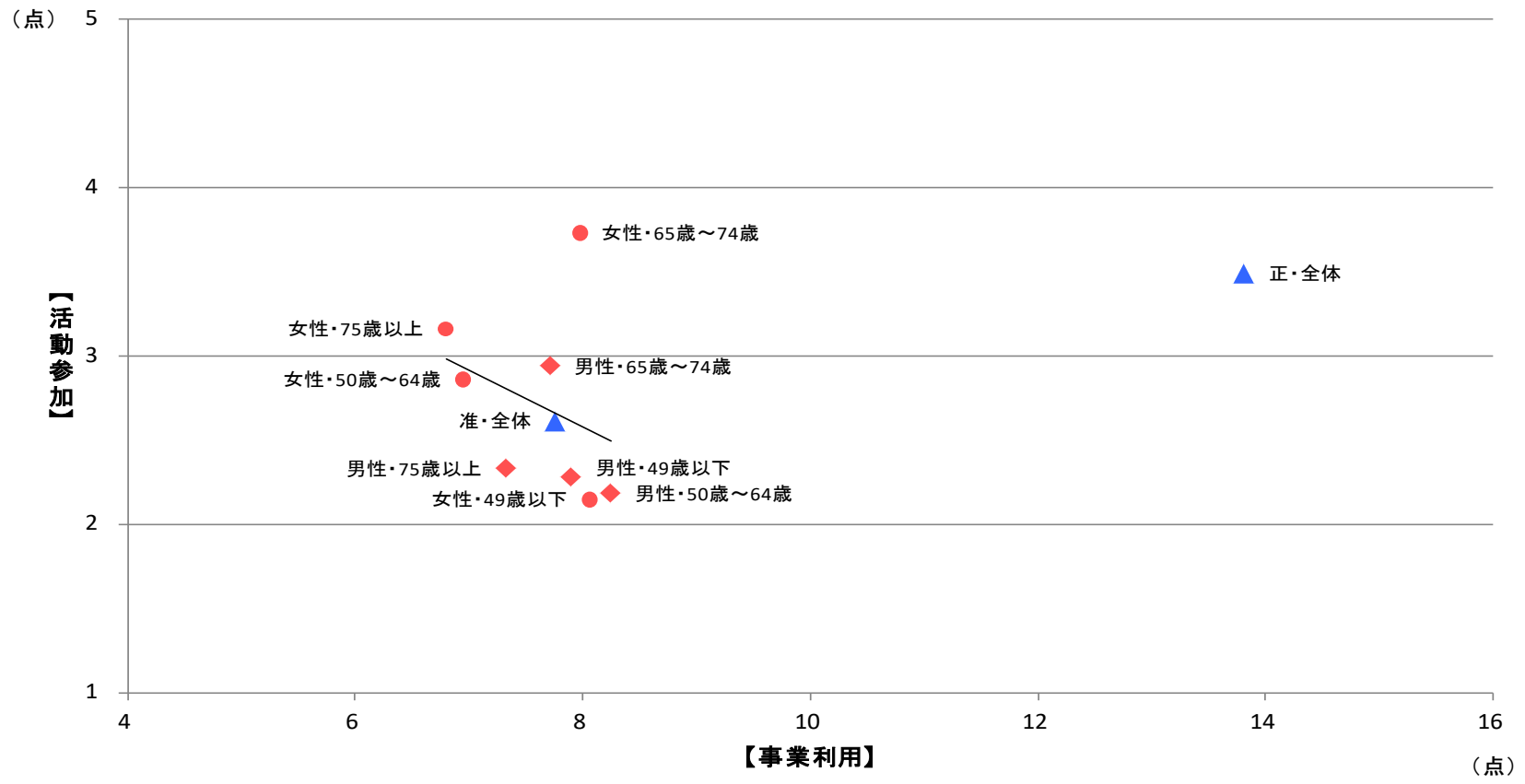
- 「男性・65～74歳」は行動点・意識点ともに高く、准組合員全体を上回り、意識点は正組合員全体に近い水準にある。
- 上記類型の次世代にあたる「男性・50～64歳」は、意識点は准組合員全体を上回るものの、行動点で下回る。同類型は准組合員の20%と構成割合も大きいことから、同類型に焦点をあてた施策展開が望ましい。
- 「女性・65～74歳」は行動点が類型最上位で准組合員全体を上回るが、意識点が准組合員全体を下回る。後述のように(p.16)、事業利用・活動参加の水準も高いことから、意識点の向上に向けた情報発信などが望まれる。



* 行動は70点満点、意識は30点満点

准組合員：メンバーシップ分析②(性別・年齢別、事業利用×活動参加)

- 意識点が類型中で最も高い「男性・65～74歳」は、事業利用は准組合員全体と同値、活動参加は准組合員全体を上回り、男性の類型中で最も高い。
- 「男性・49歳以下」「女性・49歳以下」「男性・50～64歳」では、活動参加が低位である。これら3類型は一定の事業利用をしていること、構成割合で准組合員の56%を占めることから、組合員類型別のニーズを踏まえた活動の企画・実践ならびに活動の周知・呼びかけを通じた活動参加の拡大により、メンバーシップ強化が期待される。
- 「女性・65～74歳」は事業利用・活動参加ともに准組合員全体を上回り、活動参加は類型最上位である。



* 事業利用は30点満点、活動参加は10点満点

JAみやぎ登米 組合員アンケート調査結果

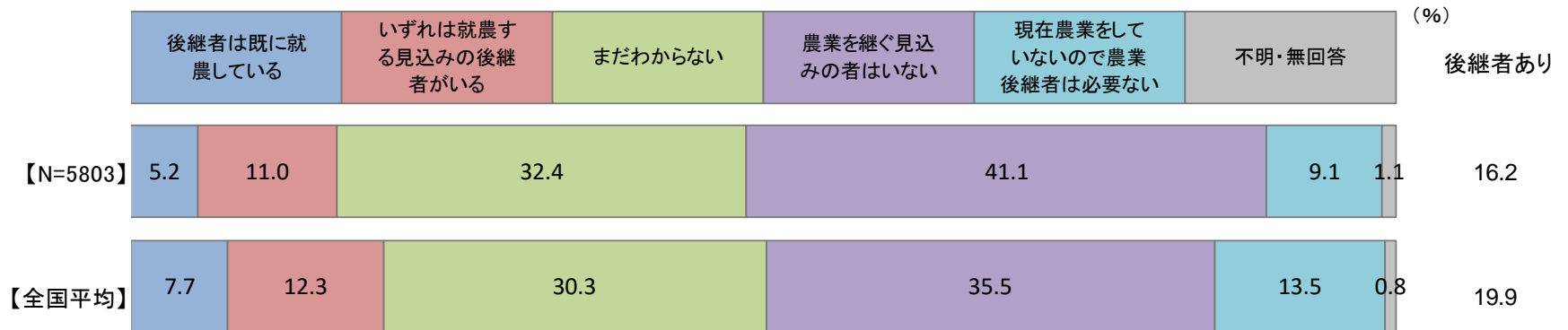
【正組合員編】

正組合員:基礎データ

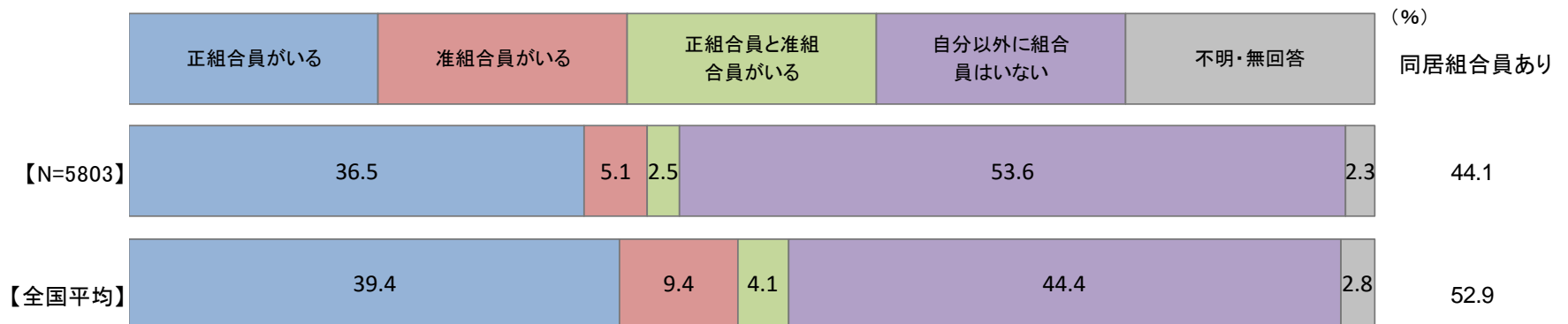
○農業後継者のいる正組合員は16%であり、全国平均を4ポイント下回る。「後継者の有無はまだわからない」「農業を継ぐ見込みの者はいない」が合わせて74%と多数にのぼり、円滑な承継対策が急務である。

○同居組合員比率は44%と半数未満にとどまっており、全国平均を9ポイント下回る。組合員加入促進において一戸複数組合員の拡大余地はまだ大きいものと考えられる。

農業後継者の有無



同居組合員の有無



正組合員：組合員組織への参加

- 正組合員全体では、組合員組織への参加率は81%であり、全国平均を14ポイント上回る。最も参加率が高い組合員組織は「集落実行組合」(75%)、次いで「年金友の会」(24%)である。
- 農業類型別、性別・年齢別ともに、全ての類型で「集落実行組合」が最も高い参加率となっている。
- 「担い手経営体」は、「青色申告会」「各種生産部会」への参加率も5割以上と高く、また「中核的担い手」では、「青色申告会」が4割、「年金友の会」「各種生産部会」が3割である、いずれの類型も、組合員組織への参加率は9割以上と高い。
- 性別・年齢別類型では、若年齢層の参加率が低く、男女ともに「49歳以下」で参加率が6～7割と最も低い。

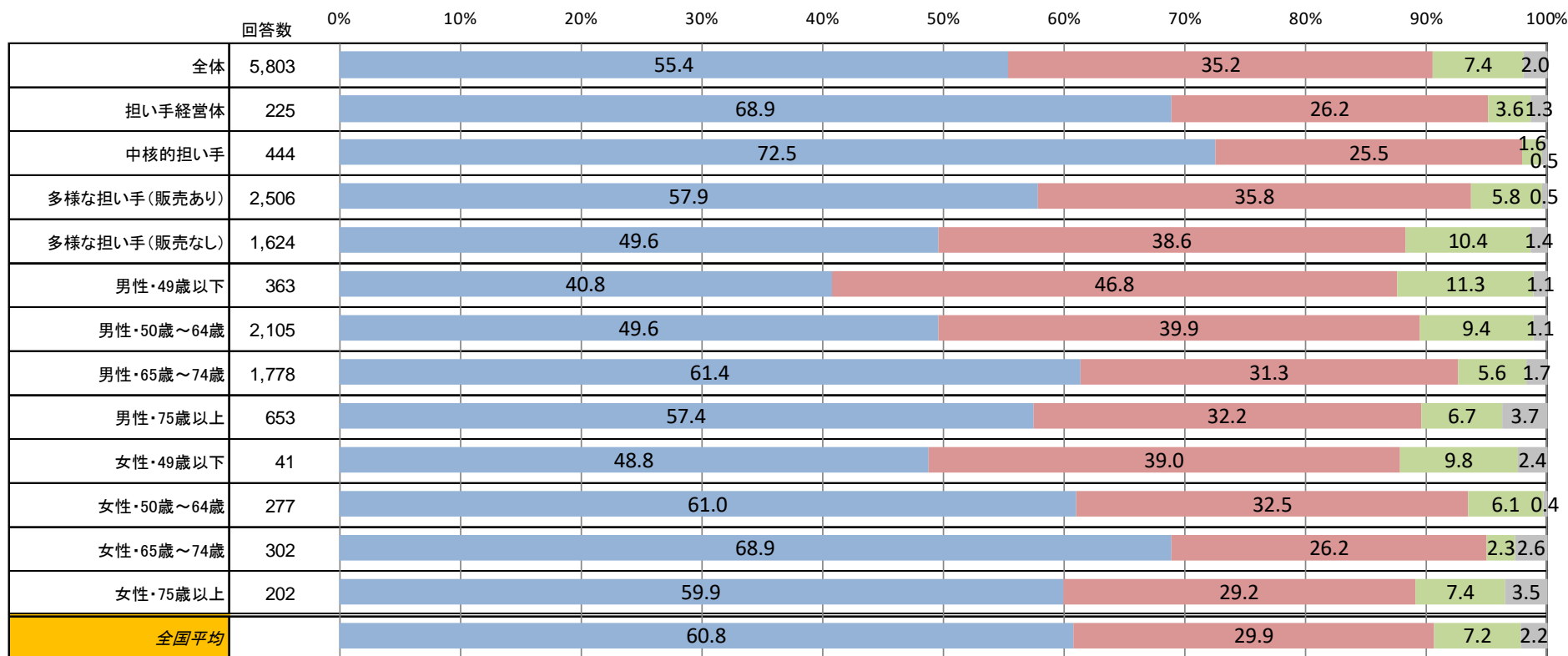
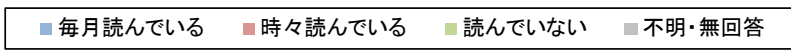
		(%)	N数	集落実行組合	青年部	女性部	年金友の会	各種生産部会	青色申告会	支店運営委員会	参加していない	不明・無回答
農業類型	担い手経営体	225	88.4	2.2	0.9	26.7	52.9	55.1	5.3	3.6	0.0	
	中核的担い手	444	86.9	1.8	1.1	34.0	32.2	39.9	4.5	5.6	0.0	
	多様な担い手(販売あり)	2,506	82.8	0.7	1.4	25.4	5.6	7.8	0.8	11.9	0.7	
	多様な担い手(販売なし)	1,624	67.7	0.6	2.4	20.4	1.2	2.5	0.2	24.1	1.7	
性別・年齢	男性	49歳以下	363	68.6	5.8	0.8	3.9	9.4	12.9	0.6	22.6	2.5
		50歳～64歳	2,105	77.0	0.9	0.1	7.5	8.2	10.5	0.9	19.0	1.4
		65歳～74歳	1,778	81.6	0.1	0.5	40.1	9.4	12.4	1.7	10.9	1.8
		75歳以上	653	75.3	0.2	0.9	38.1	4.6	5.2	0.5	12.6	4.0
	女性	49歳以下	41	58.5	0.0	2.4	4.9	4.9	4.9	0.0	34.1	4.9
		50歳～64歳	277	59.9	0.4	6.5	20.2	3.2	4.3	0.4	25.6	2.2
		65歳～74歳	302	58.6	0.3	15.6	41.4	4.0	6.0	0.3	20.2	4.0
		75歳以上	202	52.5	0.0	7.9	33.2	1.0	0.5	0.0	23.8	9.4
正組合員合計		5,803	74.6	0.8	1.8	24.2	7.5	9.6	1.0	16.6	2.6	

□ は各類型で最も高い割合(「参加していない」「不明・無回答」を除く)

	参加あり	参加なし	不明・無回答
全国平均	66.8	30.4	2.8

正組合員：広報誌「米にけーしょん」の閲読状況

○正組合員全体では、91%が広報誌を読んでおり、全国平均と同率である。
 ○「毎月読んでいる」正組合員は55%で、全国平均と比較して6ポイント低いものの、当JAの広報誌は正組合員におおむねよく読まれている。中でも「担い手経営体」「中核的担い手」は95%以上が閲読している。



正組合員：JA施設の利用頻度①（農業類型別）

- 正組合員全体および全ての類型で、「支店」が最も有効なJAとの接点となっている。次いで「担い手経営体」では「支店営農経済センター、JAグリーン、農機センター」が高いが、「中核的担い手」「多様な担い手(販売なし)」「多様な担い手(販売なし)」では「ガソリンスタンド、カーライフセンター」の利用頻度が高い。活動等を企画する際は、これらの施設を接点・拠点とした取り組みが効果的と考えられる。
- 全国平均と比較すると、「支店」の利用頻度は全国平均をやや下回り、「Yショップ、直売所」の利用頻度は大幅に下回る。
- 「担い手経営体」「中核的担い手」は7割以上が月に複数回「支店」を利用している。

(%または点)		正組合員合計 (N=5803)			担い手経営体 (N=225)			中核的担い手 (N=444)			多様な担い手(販売あり) (N=2506)			多様な担い手(販売なし) (N=1624)		
		週に数回	月に数回	利用率	週に数回	月に数回	利用率	週に数回	月に数回	利用率	週に数回	月に数回	利用率	週に数回	月に数回	利用率
①	本店	0.7	3.1	0.8	1.3	4.0	1.4	0.7	3.2	1.1	0.8	2.6	0.8	0.6	3.6	0.8
②	支店	4.7	38.6	4.5	18.2	59.6	6.3	12.8	58.1	6.0	3.9	40.0	4.6	3.0	33.5	4.1
③	支店営農経済センター、JAグリーン、農機センター	3.7	23.8	3.3	21.8	48.4	6.1	11.5	53.6	5.6	2.8	26.8	3.8	1.8	15.8	2.5
④	集出荷施設、有機センター	3.1	2.7	1.4	20.9	16.4	4.1	11.9	7.0	3.0	2.2	2.3	1.6	0.7	1.2	0.7
⑤	Yショップ・直売所	1.7	7.3	1.4	4.4	8.0	1.9	3.2	11.5	2.0	1.4	6.9	1.4	1.2	7.1	1.2
⑥	ガソリンスタンド、カーライフセンター	11.0	41.4	4.4	20.0	54.2	6.0	16.9	56.5	5.7	10.7	44.6	4.6	9.6	36.5	3.9
	支店・支所 全国平均	5.6	40.2	4.5												
	直売所(買い物利用) 全国平均	6.6	21.4	3.0												

類型ごとの最高値
 類型ごとの2番目に高い数値

正組合員：JA施設の利用頻度②(性別・年齢別)

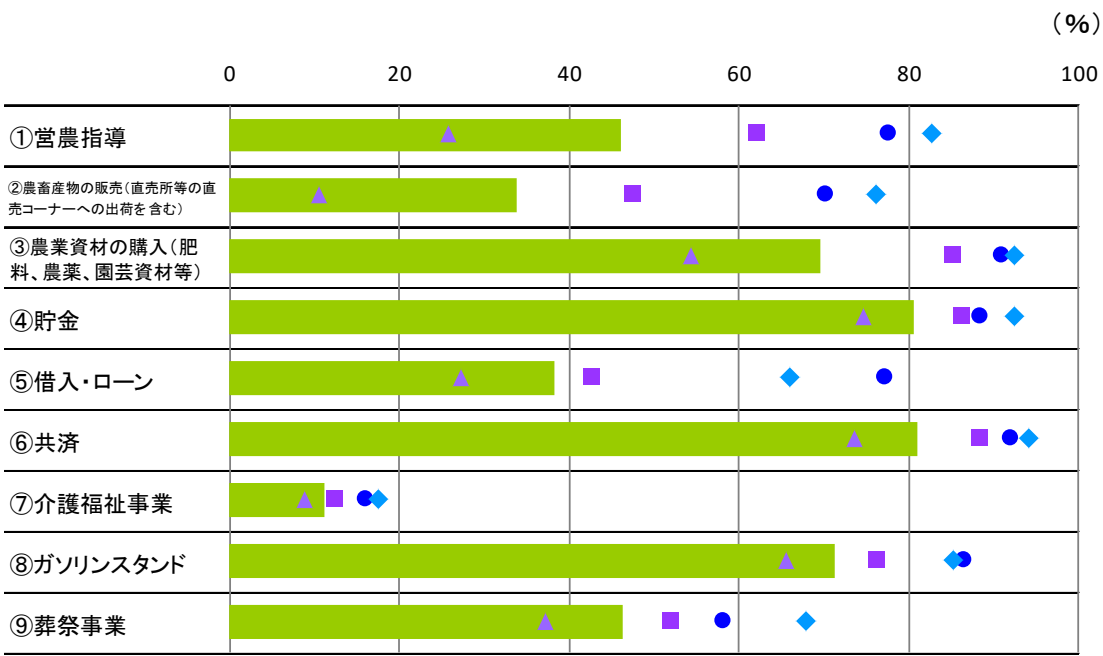
○性別・年齢別では、全ての類型で「支店」と「ガソリンスタンド、カーライフセンター」が上位2位となっている。「男性・64歳以下」「女性・49歳以下」では「ガソリンスタンド、カーライフセンター」、それ以外の類型では「支店」の利用頻度が最も高い。
 ○「最も顔なじみの職員」の設問では、「支店長」「支店の窓口職員」が合わせて18%、「金融・共済の訪問担当者」が10%、「ガソリンスタンド、カーライフセンターの職員」が12%となっている。一方、「顔なじみの職員はいない」は27%である。(単純集計より)

(%または点)		正組合員合計 (N=5803)			男性												女性											
					49歳以下 (N=363)			50歳～64歳 (N=2105)			65歳～74歳 (N=1778)			75歳以上 (N=653)			49歳以下 (N=41)			50歳～64歳 (N=277)			65歳～74歳 (N=302)			75歳以上 (N=202)		
		週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度
①	本店	0.7	3.1	0.8	0.6	2.5	0.9	0.9	3.5	0.9	0.4	2.8	0.8	1.2	2.6	0.6	0.0	2.4	0.7	0.4	4.0	0.9	1.0	2.6	0.7	0.5	2.5	0.5
②	支店	4.7	38.6	4.5	3.3	35.5	4.2	4.2	35.8	4.4	5.4	44.7	4.8	6.6	40.3	4.4	2.4	36.6	4.1	1.8	33.6	4.2	4.6	37.7	4.4	4.0	22.8	3.5
③	支店営農経済センター、JAグリーン、農機センター	3.7	23.8	3.3	3.0	22.6	3.2	4.0	21.6	3.4	4.4	29.3	3.7	3.2	24.2	3.0	4.9	14.6	2.4	1.8	17.3	2.8	1.7	23.5	3.0	0.5	10.9	1.7
④	集出荷施設、有機センター	3.1	2.7	1.4	2.8	3.9	1.6	2.9	2.1	1.4	3.7	3.5	1.6	2.9	3.1	1.3	2.4	4.9	1.0	2.5	0.7	0.9	3.0	1.3	1.0	2.0	2.0	0.6
⑤	Yショップ・直売所	1.7	7.3	1.4	1.4	7.2	1.4	1.3	5.0	1.2	1.7	7.8	1.4	2.1	9.5	1.3	2.4	4.9	1.5	2.5	13.0	1.9	2.3	12.6	1.8	1.5	5.0	0.8
⑥	ガソリンスタンド、カーライフセンター	11.0	41.4	4.4	14.6	43.8	5.0	11.4	43.8	4.6	12.0	44.1	4.6	8.9	37.8	3.9	22.0	34.1	5.3	8.7	38.3	4.1	7.6	40.1	3.9	4.0	18.8	2.0
	支店・支所 全国平均	5.6	40.2	4.5																								
	直売所(買い物利用) 全国平均	6.6	21.4	3.0																								

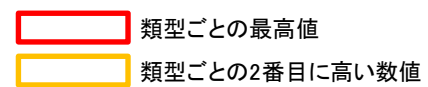
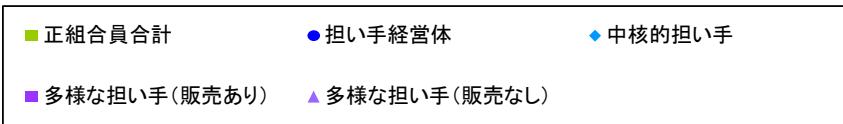
 類型ごとの最高値
 類型ごとの2番目に高い数値

正組合員：事業利用①（農業類型別）

- 正組合員全体で、事業利用の上位は「貯金」「共済」が81%、「ガソリンスタンド」が71%、「農業資材の購入（肥料、農薬、園芸資材等）」が70%となっている。「貯金」「共済」は全ての類型で74%以上の利用である。
- 「担い手経営体」は、営農関連事業のいずれにおいても「中核的担い手」の利用率を下回っている。「担い手経営体」の営農関連事業の利用拡大は農協改革の観点からも喫緊の課題であり、「担い手経営体」への訪問や意見交換によりニーズを把握し、営農関連事業の利用拡大に注力いただきたい。
- 「農業資材の購入（肥料、農薬、園芸資材等）」の利用は販売のある類型で85%以上、「多様な担い手（販売なし）」でも54%と一定の利用がみられる。



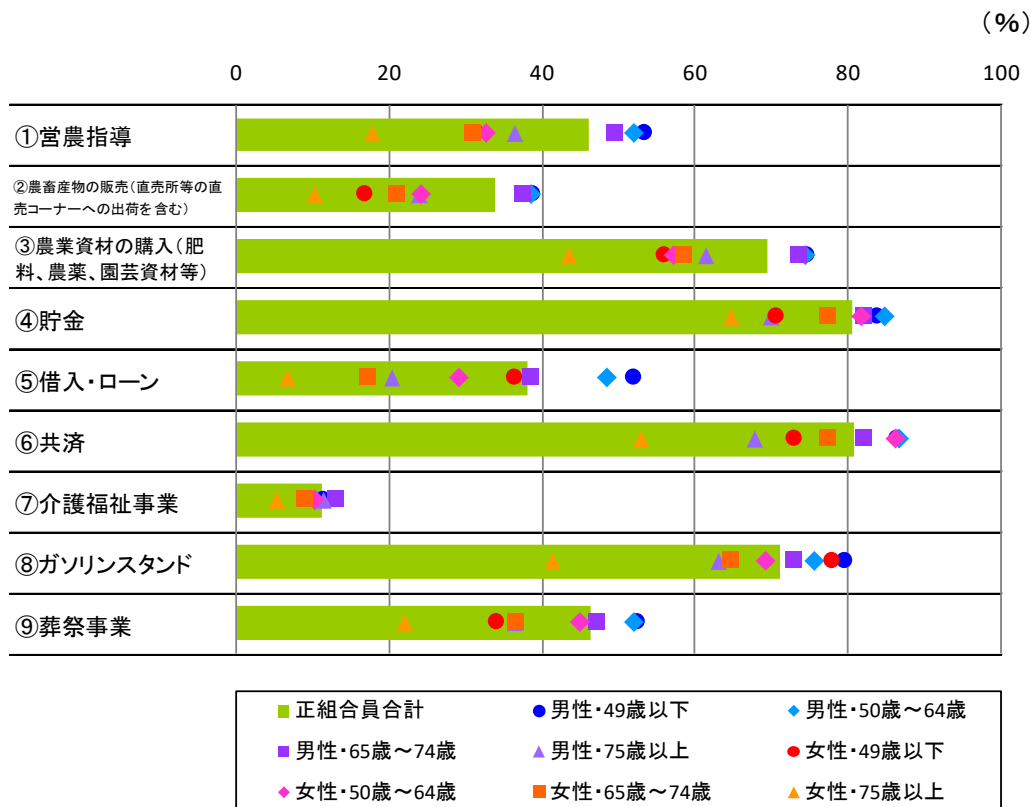
	正組合員合計 (N=5803)	担い手経営体 (N=225)	中核的担い手 (N=444)	多様な担い手 (販売あり) (N=2506)	多様な担い手 (販売なし) (N=1624)
①	46.1	77.8	82.7	62.2	25.9
②	33.7	70.2	76.1	47.7	10.5
③	69.6	91.1	92.6	85.2	54.4
④	80.5	88.4	92.6	86.4	74.6
⑤	38.2	77.3	66.0	42.7	27.3
⑥	80.9	92.0	94.1	88.4	73.6
⑦	11.2	16.0	17.6	12.5	8.9
⑧	71.2	86.7	85.4	76.5	65.5
⑨	46.3	58.2	68.0	52.0	37.3



* グラフの値は頻度に関わらず「Aを利用している」と回答した割合

正組合員：事業利用②(性別・年齢別)

- 性別・年齢別でも、「女性・49歳以下」を除き全ての類型で「貯金」「共済」の利用が上位2位を占める。「女性・49歳以下」では「ガソリンスタンド」の利用率が最も高い。
- 「農業資材の購入(肥料、農薬、園芸資材等)」は男性の利用が高い。また、「ガソリンスタンド」は男女ともに若年齢層で利用率が高い。
- 貯金を利用する理由は、正組合員の69%が「店舗が近い」、27%が「JAへの親近感」と回答している。(単純集計より)



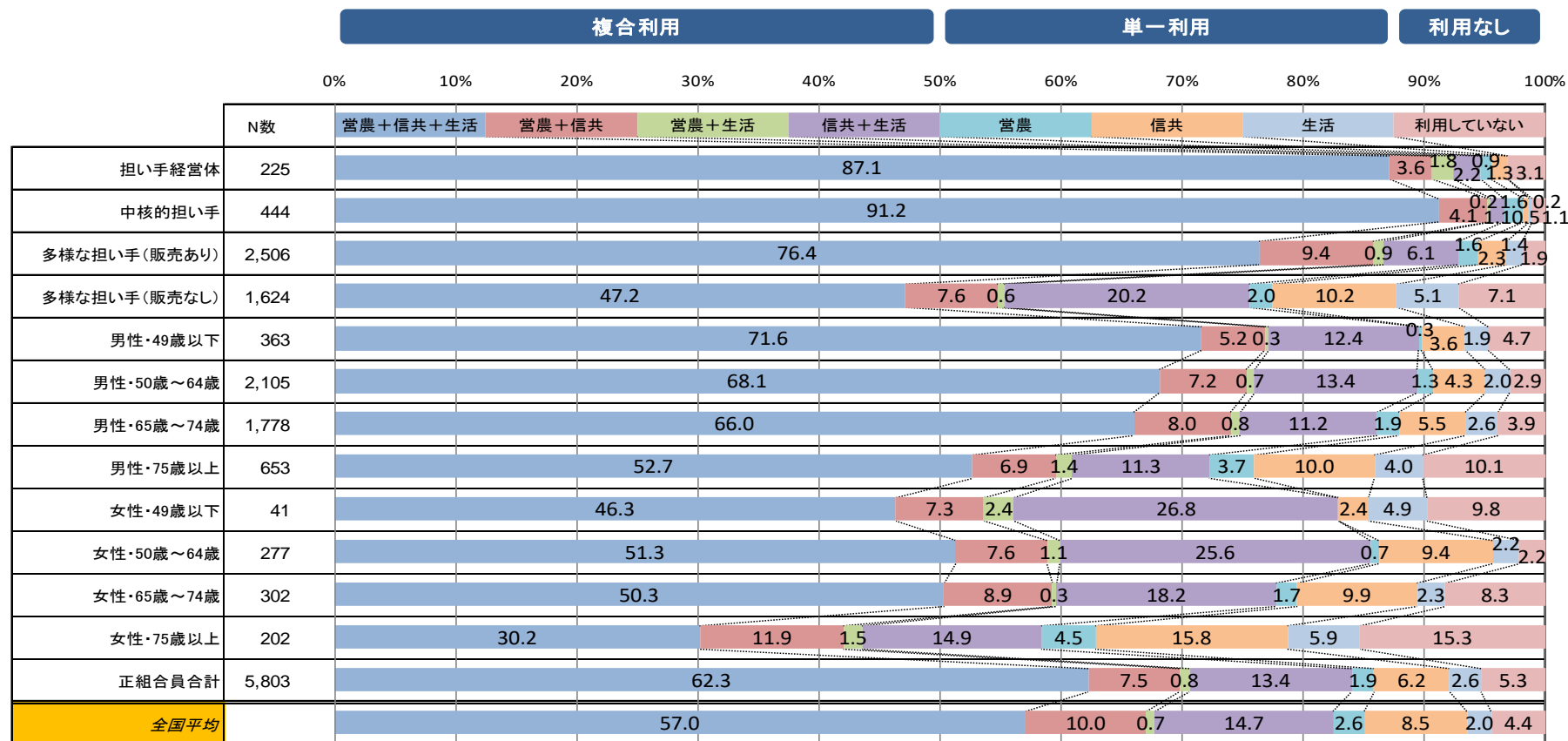
	正組合員合計 (N=5803)	男性				女性			
		49歳以下 (N=363)	50歳～64歳 (N=2105)	65歳～74歳 (N=1778)	75歳以上 (N=653)	49歳以下 (N=41)	50歳～64歳 (N=277)	65歳～74歳 (N=302)	75歳以上 (N=202)
①	46.1	53.4	52.2	49.8	36.4	31.7	32.9	31.1	17.8
②	33.7	38.8	38.7	37.7	24.0	17.1	24.2	21.2	10.4
③	69.6	74.7	74.5	73.9	61.6	56.1	57.4	58.6	43.6
④	80.5	84.0	84.9	82.4	70.1	70.7	81.9	77.5	64.9
⑤	38.2	52.1	48.6	38.6	20.5	36.6	29.2	17.5	6.9
⑥	80.9	86.5	86.8	82.3	67.8	73.2	86.3	77.5	53.0
⑦	11.2	11.6	10.4	13.1	11.6	9.8	10.5	9.3	5.4
⑧	71.2	79.6	75.7	73.2	63.2	78.0	69.3	64.9	41.6
⑨	46.3	52.6	52.1	47.3	36.6	34.1	45.1	36.8	22.3

 類型ごとの最高値
 類型ごとの2番目に高い数値

* グラフの値は頻度に関わらずJAを「利用している」と回答した割合

正組合員：事業の複合利用

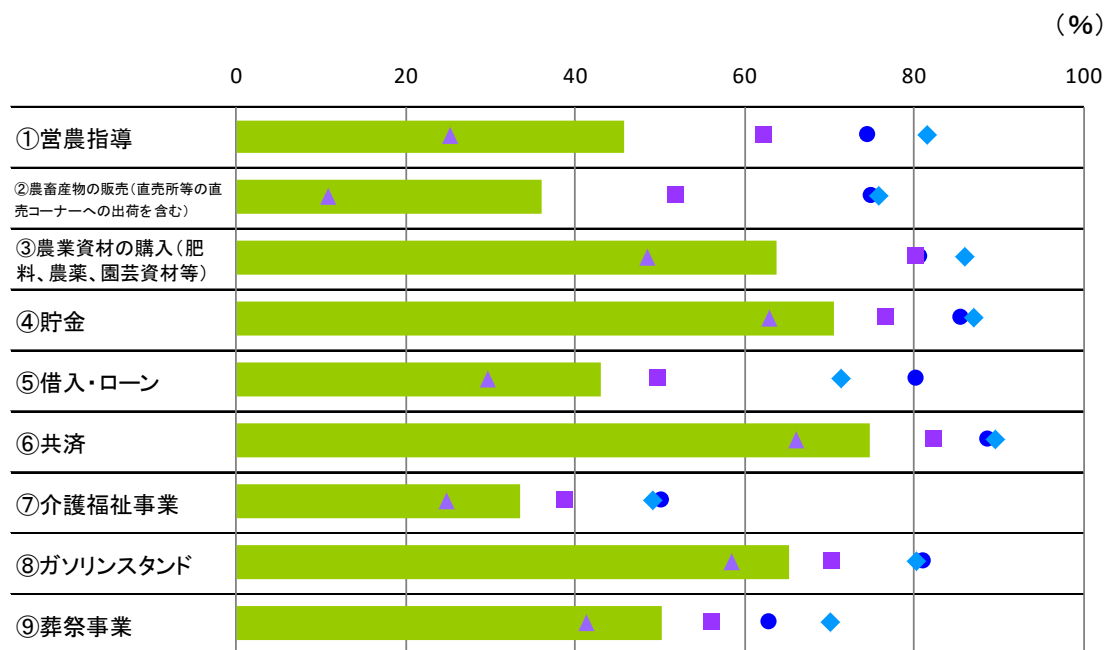
- 正組合員全体では、事業の複合利用率は84%であり、「営農+信共+生活」の利用は62%である。全国平均と比較すると、複合利用率は2ポイント高く、「営農+信共+生活」の利用率は5ポイント高い。
- 農業類型別にみると、「担い手経営体」「中核的担い手」「多様な担い手(販売あり)」は複合利用率が93%以上と高いのに対し、「多様な担い手(販売なし)」では76%に低下する。また「多様な担い手(販売なし)」では、「信共+生活」の利用率が20%、「信共」単一利用が10%と高くなっている。
- 性別・年齢別では、「男性・74歳以下」「女性・50～64歳」で事業の複合利用率が高く、9割弱である。



- * 営農：営農指導、農畜産物の販売(直売所等の直売コーナーへの出荷を含む)、農業資材の購入(肥料、農薬、園芸資材等)
- * 信共：貯金、借入・ローン、共済
- * 生活：直売所での買い物、介護福祉事業、ガソリンスタンド、葬祭事業

正組合員：今後の事業利用意向①(農業類型別)

- 正組合員全体および「多様な担い手(販売あり)」を除く全ての類型で、今後の事業利用意向は「共済」「貯金」の順となっている。「多様な担い手(販売あり)」では「共済」に次いで「農業資材の購入」となっている。
- 現時点の利用実態(p.23)と今後の利用意向を比較すると、「借入・ローン」「介護福祉事業」「葬祭事業」は正組合員全体および全ての類型で利用意向が利用実態を上回り、今後の事業の利用拡大が期待できる。とりわけ「介護福祉事業」では、正組合員全体で22ポイント利用意向が上回る。
- 「貯金」では、正組合員全体および全ての類型で利用意向が利用実態を下回り、事業の縮小が懸念される。正組合員全体では10ポイント、「多様な担い手(販売あり)」は10ポイント、「多様な担い手(販売なし)」は12ポイント下回る。



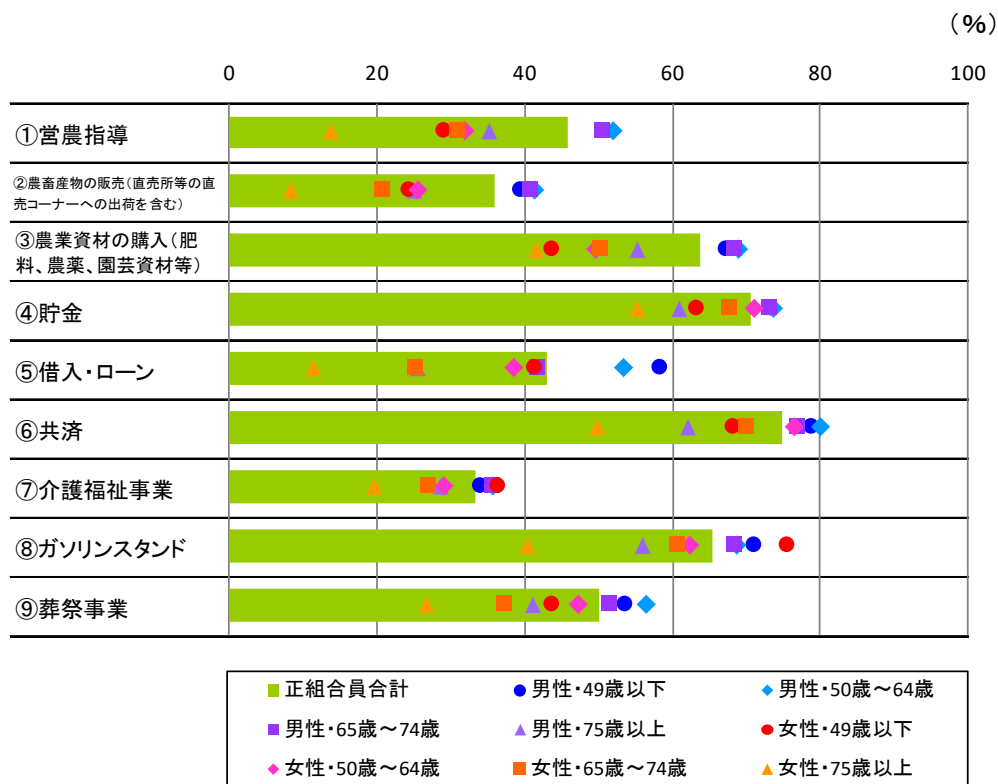
■ 正組合員合計 ● 担い手経営体 ◆ 中核的担い手
■ 多様な担い手(販売あり) ▲ 多様な担い手(販売なし)

	正組合員 合計 (N=5803)	担い手経営体 (N=225)	中核的担い手 (N=444)	多様な担い手 (販売あり) (N=2506)	多様な担い手 (販売なし) (N=1624)
①	45.8	74.7	81.8	62.3	25.2
②	36.0	75.1	75.9	52.0	11.0
③	63.8	80.9	86.0	80.3	48.6
④	70.6	85.8	87.2	76.8	63.0
⑤	43.0	80.4	71.4	49.9	29.7
⑥	74.8	88.9	89.6	82.4	66.1
⑦	33.4	50.2	49.3	38.8	24.9
⑧	65.3	81.3	80.4	70.5	58.5
⑨	50.2	63.1	70.3	56.1	41.5

 類型ごとの最高値
 類型ごとの2番目に高い数値

正組合員：今後の事業利用意向②(性別・年齢別)

- 性別・年齢別にみると、「女性・49歳以下」を除く全ての類型で、今後の事業利用意向は「共済」「貯金」の順となっている。「女性・49歳以下」では「ガソリンスタンド」の利用意向が最も高く、次いで「共済」である。
- 現時点の利用実態(p.24)と今後の利用意向を比較すると、「借入・ローン」「介護福祉事業」「葬祭事業」については、性別・年齢別でも全ての類型で利用意向が実態を上回る。
- 「貯金」は、性別・年齢別でも全ての類型で利用意向が利用実態を下回る。中でも「男性・64歳以下」「女性・50～64歳」「女性・65～74歳」は10ポイント以上利用意向が下回り、対策の検討が必要である。



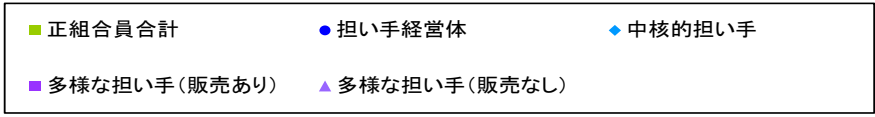
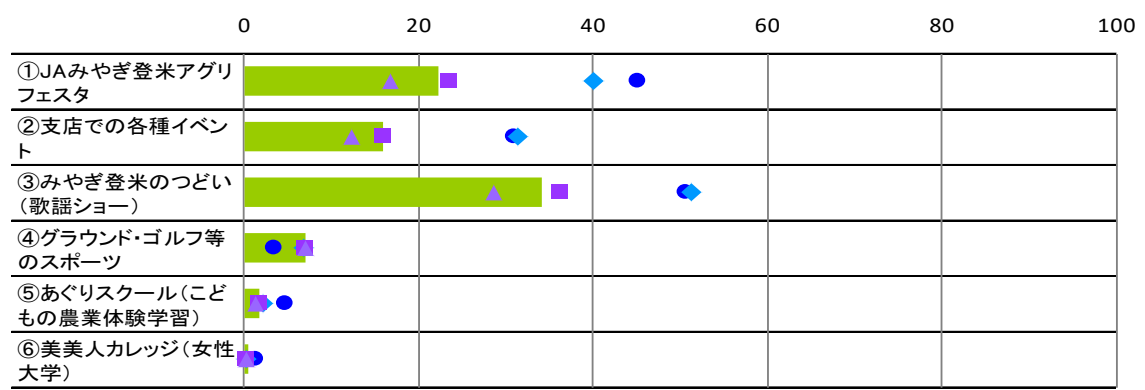
	正組合員 合計 (N=5803)	男性				女性			
		49歳以下 (N=363)	50歳～64 歳 (N=2105)	65歳～74 歳 (N=1778)	75歳以上 (N=653)	49歳以下 (N=41)	50歳～64 歳 (N=277)	65歳～74 歳 (N=302)	75歳以上 (N=202)
①	45.8	51.0	52.0	50.7	35.2	29.3	32.1	31.1	13.9
②	36.0	39.7	41.6	40.9	25.1	24.4	25.6	20.9	8.4
③	63.8	67.5	69.0	68.6	55.4	43.9	49.8	50.3	41.6
④	70.6	73.6	73.8	73.4	61.1	63.4	71.1	67.9	55.4
⑤	43.0	58.4	53.5	41.8	25.7	41.5	38.6	25.5	11.4
⑥	74.8	79.1	80.2	77.1	62.2	68.3	76.5	70.2	50.0
⑦	33.4	34.2	35.9	35.8	28.8	36.6	29.2	27.2	19.8
⑧	65.3	71.1	68.9	68.6	56.2	75.6	62.5	60.9	40.6
⑨	50.2	53.7	56.5	51.5	41.2	43.9	47.3	37.4	26.7

74.8 類型ごとの最高値
73.6 類型ごとの2番目に高い数値

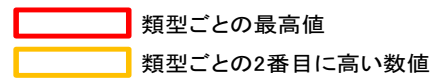
正組合員：活動の参加①(農業類型別)

- 正組合員全体で、「みやぎ登米のつどい(歌謡ショー)」への参加率が最も高く34%、次いで「JAみやぎ登米アグリフェスタ」が22%である。農業類型別にも全ての類型で同様の順位である。
- 「担い手経営体」「中核的担い手」の活動参加率は比較的高く、「みやぎ登米のつどい(歌謡ショー)」には5割以上、「JAみやぎ登米アグリフェスタ」には4割以上の参加率となっている。
- 「JAみやぎ登米アグリフェスタ、支店まつり、JAみやぎ登米のつどい、各種スポーツ大会等」への参加を通じて、12%の正組合員が「JAに対する親しみが増した」と回答している。(単純集計より)
- 「あぐりスクール(こどもの農業体験学習)」「美美人カレッジ(女性大学)」については、それぞれ44%、63%が「知らない」と回答しており、認知度の向上についても課題である。(単純集計より)

*各設問で「参加している」と回答した割合 (%)



	正組合員合計 (N=5803)	担い手経営体 (N=225)	中核的担い手 (N=444)	多様な担い手 (販売あり) (N=2506)	多様な担い手 (販売なし) (N=1624)
①	22.2	45.3	40.1	23.7	16.9
②	16.0	31.1	31.5	16.0	12.4
③	34.2	50.7	51.4	36.3	28.7
④	7.0	3.6	7.0	7.1	7.2
⑤	1.7	4.9	2.3	1.8	1.4
⑥	0.5	1.3	0.5	0.4	0.3

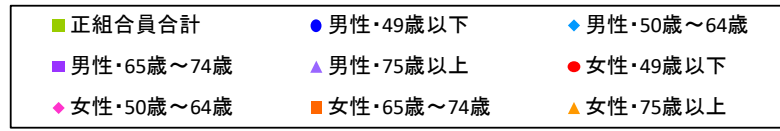
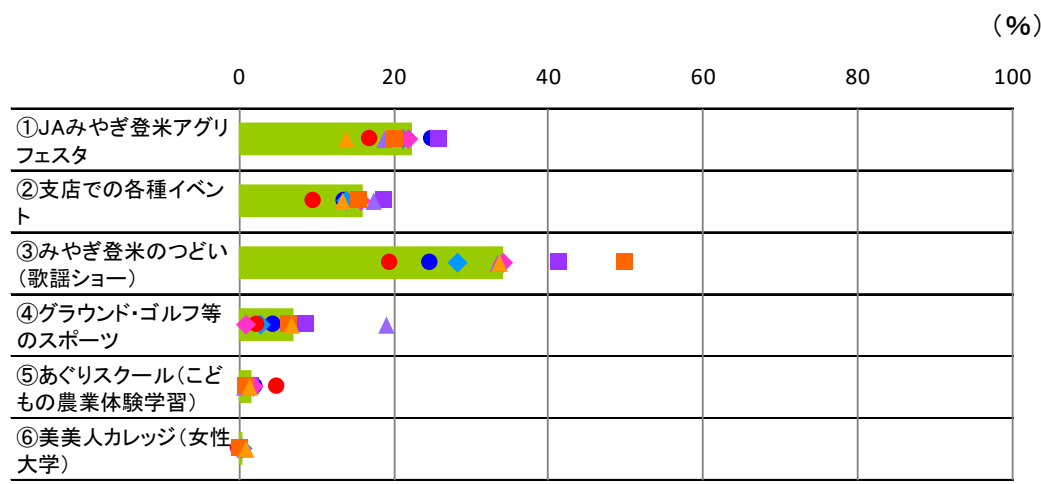


正組合員：活動の参加②(性別・年齢別)

○性別・年齢別でも、「男性・75歳以上」を除く全ての類型で、「みやぎ登米のつどい(歌謡ショー)」「JAみやぎ登米アグリフェスタ」への参加率が上位2位を占める。「男性・75歳以上」では「みやぎ登米のつどい(歌謡ショー)」に次いで「グラウンド・ゴルフ等のスポーツ」となっている。

○「みやぎ登米のつどい(歌謡ショー)」は男女ともに「65～74歳」で参加率が高く4割以上である。

*各設問で「参加している」と回答した割合



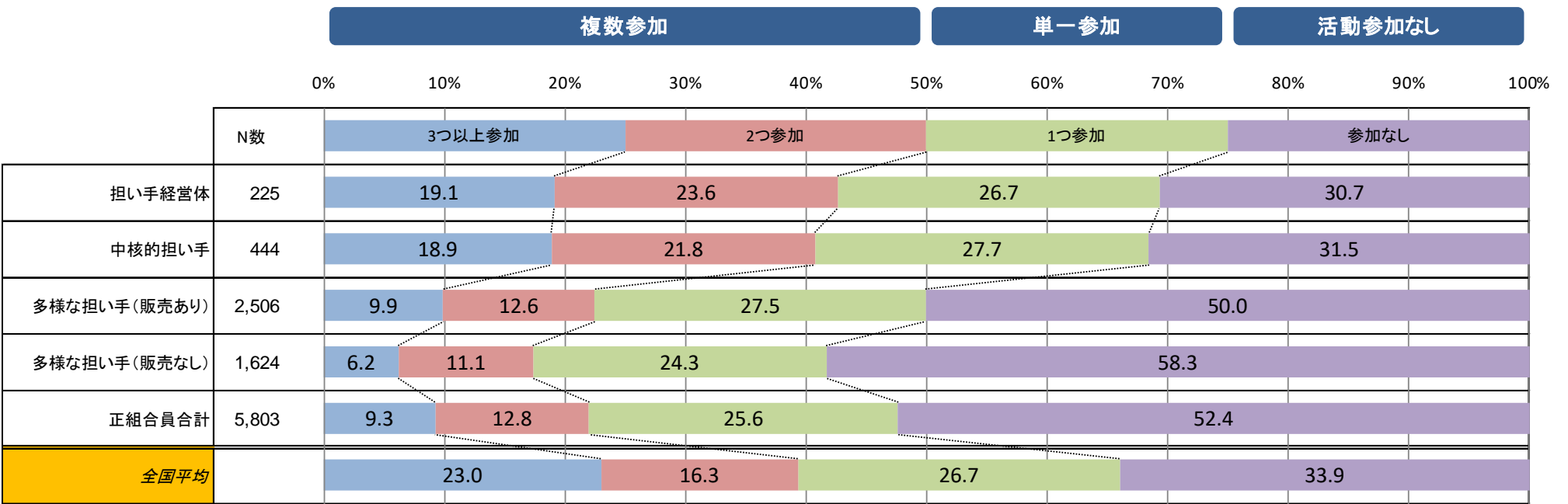
	正組合員 合計 (N=5803)	男性				女性			
		49歳以下 (N=363)	50歳～64 歳 (N=2105)	65歳～74 歳 (N=1778)	75歳以上 (N=653)	49歳以下 (N=41)	50歳～64 歳 (N=277)	65歳～74 歳 (N=302)	75歳以上 (N=202)
①	22.2	25.1	21.3	25.9	18.8	17.1	22.0	20.2	13.9
②	16.0	13.8	14.0	19.0	17.5	9.8	15.9	15.6	13.4
③	34.2	24.8	28.3	41.6	33.5	19.5	34.3	50.0	33.7
④	7.0	4.4	2.9	8.7	19.1	2.4	1.1	6.6	6.9
⑤	1.7	2.2	1.9	1.6	0.8	4.9	1.8	1.0	1.5
⑥	0.5	0.3	0.5	0.3	0.8	0.0	0.4	0.3	1.0

 類型ごとの最高値
 類型ごとの2番目に高い数値

正組合員：活動の複数参加①（農業類型別）

○正組合員全体では、活動の複数参加は22%、単一参加は26%、活動参加なしは52%である。全国平均と比較して、活動の複数参加率は17ポイント低く、単一参加を含む活動参加率は18ポイント低く、当JAの正組合員の活動参加は低調といえる。

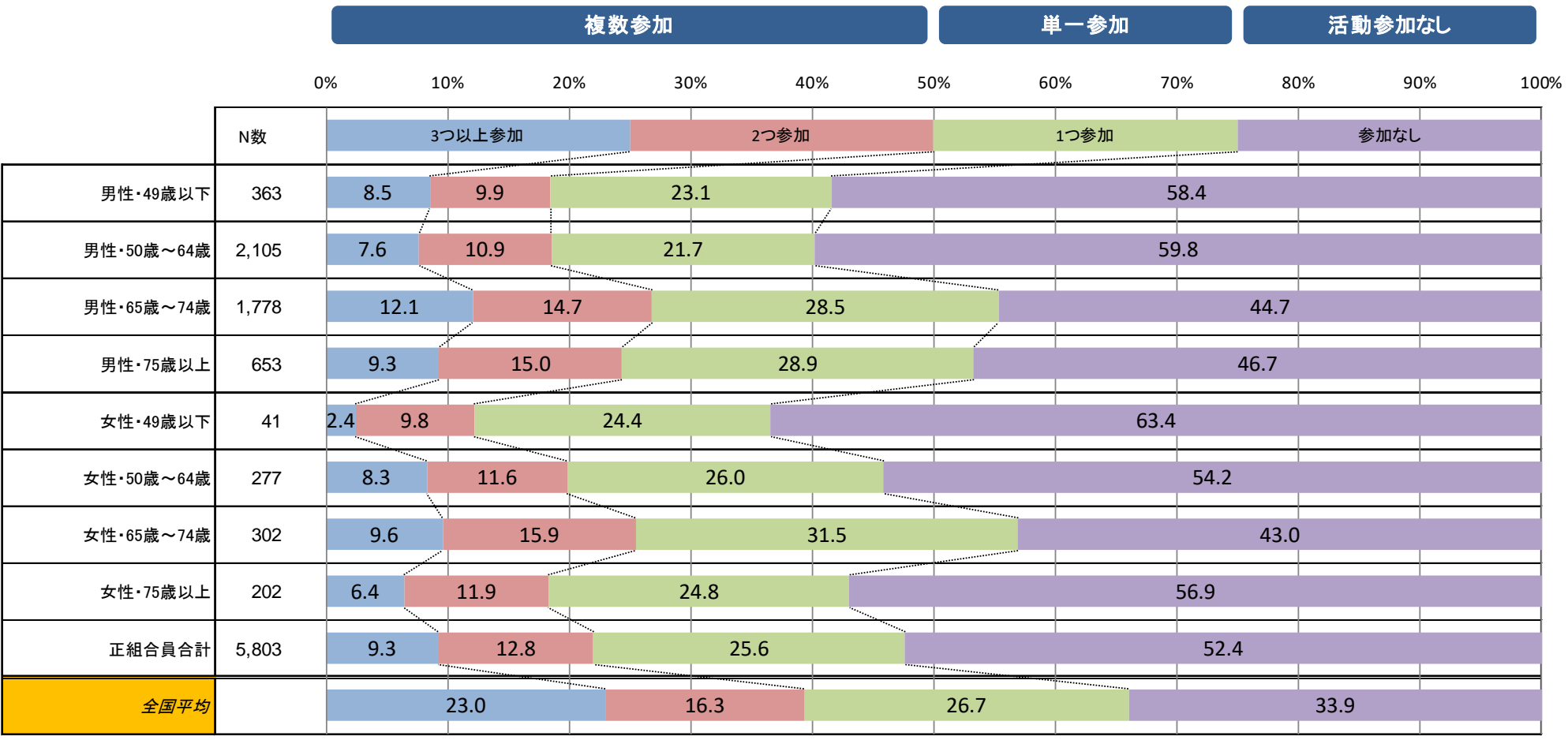
○農産物販売規模の大きい類型ほど、活動の複数参加率・単一参加を含む活動参加率ともに高い。「多様な担い手（販売なし）」は複数参加率は17%、単一参加を含む活動参加率も42%と、過半が活動に参加していないことから、同類型のニーズをとらえた活動の企画・実践ならびに活動の周知・呼びかけに取り組んでいただきたい。



正組合員：活動の複数参加②(性別・年齢別)

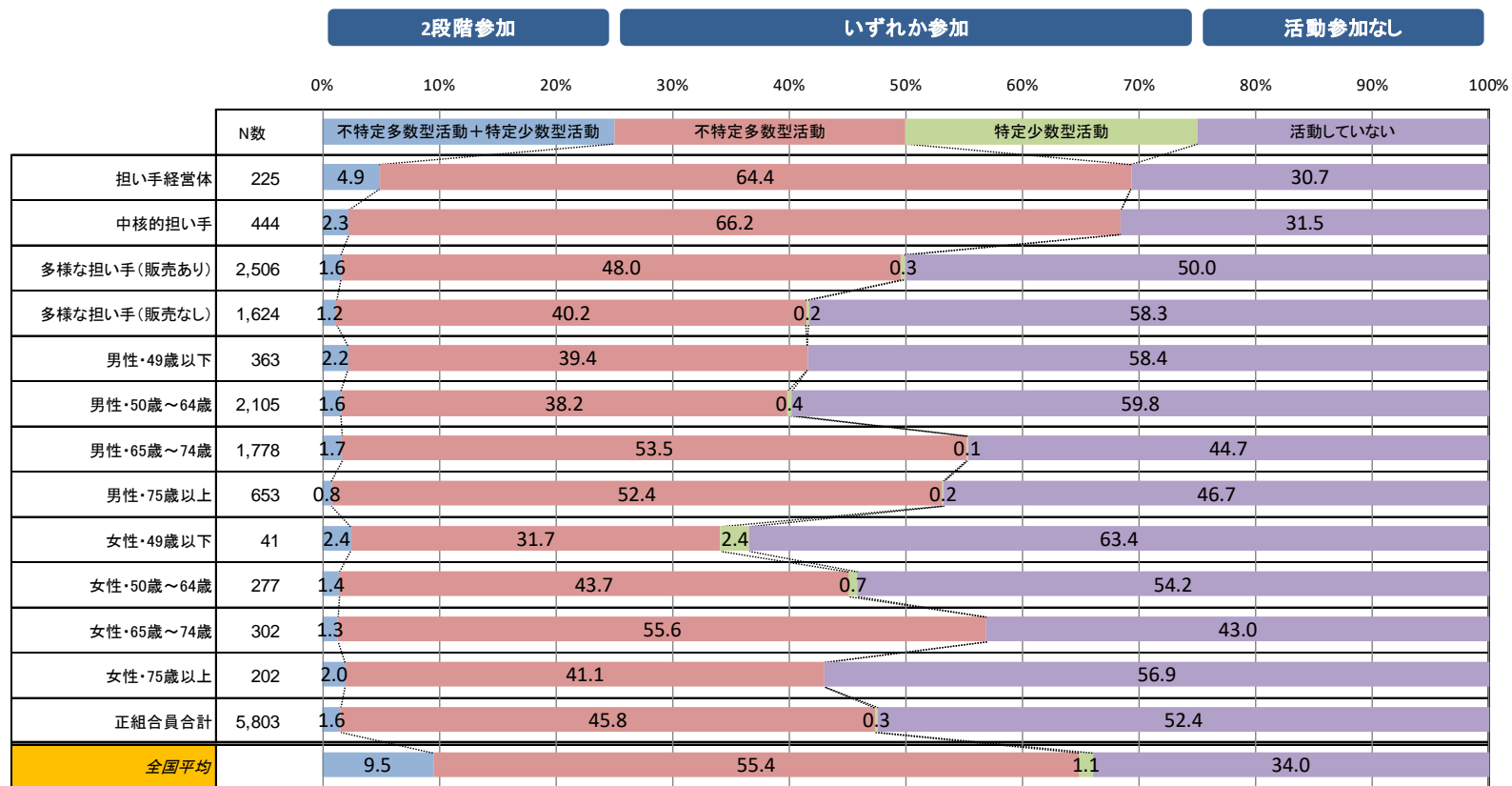
○性別・年齢別にみると、男女ともに「65～74歳」が最も複数参加率が高い類型であるが、複数参加率は26～27%と、全国平均を10ポイント以上下回る。

○男女ともに「49歳以下」ならびに「男性・50～64歳」では、複数参加率や単一参加を含む活動参加率が低く、参加なしが6割前後と高くなっている。「JAに期待する活動」(p.33)を参考にし、類型ごとのニーズをとらえた活動の企画・実践ならびに活動の周知・呼びかけにより、活動を通じた組合員との接点づくりに取り組んでいただきたい。



正組合員：活動の2段階参加

- 正組合員全体では、活動の2段階参加は2%、いずれか参加は46%、活動参加なしは52%である。全国平均と比較すると、活動の2段階参加は8ポイント低く、いずれか参加は10ポイント低い。
- 2段階参加率は、「担い手経営体」で最も高く5%であり、「あぐりスクール(こどもの農業体験学習)」が主な内容となっている。
- 「美美人カレッジ(女性大学)」については、女性の類型を含め参加率は低位である。
- 当JAでは正組合員の活動の2段階参加が低調であることから、不特定多数型活動の活性化とあわせ、特定少数型活動の企画・実践についても課題である。



* 不特定多数型活動: JAみやぎ登米アグリフェスタ、支店での各種イベント、JAみやぎ登米のつどい(歌謡ショー)、グラウンド・ゴルフ等のスポーツ
 * 特定少数型活動: あぐりスクール(こどもの農業体験学習)、美美人カレッジ(女性大学)

正組合員：JAに期待する活動

- 正組合員全体では、「地域環境をよくするための活動」、「高齢者の生きがいづくりのための活動」、「農業ビジネス講座」への期待が高く、いずれも2割強である。
- 農業類型別には、「担い手経営体」「中核的担い手」「多様な担い手(販売あり)」では「農業ビジネス講座」への期待が最も高く、「多様な担い手(販売なし)」では「地域環境をよくする活動」が最も高い。
- 性別・年齢別では、「男性・64歳以下」は「農業ビジネス講座」、「男性・75歳以上」「女性・65歳以上」では「高齢者の生きがいづくり」が最も高い。また「女性・50～64歳」「女性・65～74歳」では「料理教室」の期待が2割前後とやや高い。これらの類型との接点づくりの参考にしていただきたい。

		(%)	N数	園芸塾等の栽培技術を学ぶ講座	農業所得の向上や起業のためのビジネス講座	有志による技術開発のサポート	市民農園・体験型農園	子供たちへの農業体験(食農教育)	料理・農産物加工等の教室	地域が集まれるお祭り等のイベント	旅行・コンサートなどのレクリエーションイベント	趣味等に応じた仲間が集まるサークル活動	高齢者の生きがいづくりのための活動	介護や福祉に関わる活動	地域環境をよくするための活動	その他	特にない	不明・無回答	
農業類型	担い手経営体		225	17.8	44.0	16.9	3.1	18.7	2.7	12.9	9.3	4.4	12.4	7.6	28.9	4.0	14.2	8.9	
	中核的担い手		444	26.6	41.2	11.0	5.9	13.7	7.2	11.7	8.8	4.7	16.4	10.1	20.9	2.9	14.6	7.7	
	多様な担い手(販売あり)		2,506	17.5	25.1	5.0	4.5	11.1	7.2	12.3	8.8	7.7	21.9	15.8	23.9	2.2	19.9	9.9	
	多様な担い手(販売なし)		1,624	11.6	13.3	2.8	6.1	10.5	8.9	13.2	11.0	8.2	23.5	17.3	25.0	3.1	25.0	10.5	
性別・年齢	男性	49歳以下		363	17.4	33.1	10.5	5.8	16.8	5.2	10.7	6.6	9.1	9.6	8.8	22.6	1.1	23.7	7.2
		50歳～64歳		2,105	16.1	29.6	6.4	4.9	11.7	5.5	13.1	7.9	6.3	16.6	15.4	25.6	3.4	22.8	7.3
		65歳～74歳		1,778	16.1	19.6	4.1	5.2	11.6	7.3	13.0	10.9	8.1	23.7	14.3	24.1	2.5	20.2	11.8
		75歳以上		653	11.5	10.3	2.6	3.1	7.5	3.8	12.6	9.6	6.3	34.2	19.6	19.8	2.6	20.4	19.0
	女性	49歳以下		41	14.6	12.2	4.9	9.8	12.2	12.2	4.9	9.8	9.8	12.2	22.0	14.6	4.9	24.4	7.3
		50歳～64歳		277	17.0	11.2	3.2	5.8	10.8	26.0	7.2	14.8	10.5	17.3	16.6	18.4	0.4	22.4	10.1
		65歳～74歳		302	18.5	6.6	2.3	4.6	9.3	19.9	9.6	19.5	13.6	25.5	14.9	17.9	3.3	15.6	14.9
		75歳以上		202	9.4	8.4	2.0	4.0	7.9	8.4	15.8	10.9	5.0	41.1	23.3	19.8	1.0	23.3	14.4
正組合員合計			5,803	15.6	21.5	4.9	4.9	11.2	7.7	12.4	10.0	7.6	21.9	15.5	23.2	2.6	21.4	10.9	
全国平均				24.5	16.9	5.8	4.9	9.9	9.3	13.6	12.6	8.0	24.1	13.3	18.1	2.3	17.7	8.8	

□ は各類型で最も高い割合(「特にない」「不明・無回答」を除く)

正組合員：会合への出席（意思反映）

- 正組合員全体では、意思反映のための会合出席率は74%であり、全国平均を14ポイント上回る。
- 正組合員全体および全ての類型で「集落座談会」への参加率が最も高く、全体で73%の参加率である。
- 「担い手経営体」「中核的担い手」では、「総代会」「支店運営委員会、総代・実行組合長合同説明会」への参加率も高く、意思反映のための会合出席率は90%以上であるのに対し、「多様な担い手(販売なし)」では64%に低下する。
- 性別・年齢別では、男性の方が会合出席率が高い。また男女ともに「65～74歳」の出席経験が最も高く、男性では84%、女性では60%である。これに対し、「女性・49歳以下」の会合出席率は34%と低い。

		(%)	N数	総代会	支店運営委員会、 総代・実行組合長 合同説明会	集落座談会	いずれも参加した ことがない	不明・無回答
農業 類型	担い手経営体		225	41.3	38.2	87.6	8.9	0.9
	中核的担い手		444	34.0	32.7	93.5	5.2	0.2
	多様な担い手(販売あり)		2,506	16.4	14.6	81.9	15.5	0.8
	多様な担い手(販売なし)		1,624	8.8	7.9	61.6	34.0	2.2
性別・ 年齢	男性	49歳以下	363	6.9	5.5	60.3	35.5	2.8
		50歳～64歳	2,105	14.1	13.0	74.8	22.2	1.5
		65歳～74歳	1,778	22.4	21.5	81.9	14.0	1.7
		75歳以上	653	17.9	14.5	77.6	16.7	3.5
	女性	49歳以下	41	2.4	0.0	34.1	61.0	4.9
		50歳～64歳	277	3.6	1.8	46.2	50.5	2.2
		65歳～74歳	302	4.3	3.0	57.6	35.4	5.0
		75歳以上	202	3.5	2.0	48.0	41.1	10.4
正組合員合計			5,803	15.1	13.7	72.7	22.9	2.7

は各類型で最も高い割合(「いずれも参加したことがない」「不明・無回答」を除く)

	参加あり	参加なし	不明・無回答
全国平均	59.7	37.0	3.3

正組合員：意思反映ルート

- 正組合員全体および多くの類型で、「職員を通じて」の意思反映の割合が最も高く、正組合員全体では15%である。
- 「多様な担い手(販売あり)」「男性・65～74歳」では「総代会やJAの各種会合を通じて」が最も高い。また、「女性・74歳以下」では「広報誌等のアンケートを通じて」が最も高い。
- 「担い手経営体」「中核的担い手」は、「職員を通じて」に加え、「部会などの組織を通じて」「役員を通じて」「総代会やJAの各種会合を通じて」についても高く、多様な意見反映ルートを持っている。
- 「意見を伝えるルートがない」と回答した割合は正組合員全体の10%であり、全国平均を1ポイント下回る。「多様な担い手(販売なし)」や「女性・50～64歳」「女性・75歳以上」ではやや割合が高いことから、意思反映ルートの確保が求められる。
- 正組合員の53%(不明・無回答を含め74%)は、JAに対して「特に意見したいことはない」と回答している。(単純集計より)

		(%)	N数	総代会やJAの各種会合を通じて	職員を通じて	役員を通じて	部会などの組織を通じて	広報誌等のアンケートを通じて	メールやウェブを通じて	意見を伝えるルートがない	不明・無回答
農業類型	担い手経営体		225	27.1	32.0	27.6	30.2	4.0	1.3	4.0	35.1
	中核的担い手		444	27.0	28.2	19.6	19.8	6.1	3.2	9.5	37.4
	多様な担い手(販売あり)		2,506	17.9	16.6	12.6	8.5	8.1	2.7	9.5	51.5
	多様な担い手(販売なし)		1,624	9.5	12.3	9.4	5.9	8.1	3.2	12.9	58.4
性別・年齢	男性	49歳以下	363	11.8	18.2	10.2	8.5	6.3	5.0	10.7	50.4
		50歳～64歳	2,105	14.7	15.7	11.8	8.3	6.5	3.1	12.0	51.4
		65歳～74歳	1,778	19.6	19.0	15.1	10.6	8.3	2.0	8.2	51.1
		75歳以上	653	15.8	16.1	14.5	10.6	9.3	2.6	8.6	56.2
	女性	49歳以下	41	4.9	9.8	7.3	4.9	12.2	2.4	9.8	68.3
		50歳～64歳	277	2.5	7.2	4.7	4.0	7.2	1.8	13.0	67.9
		65歳～74歳	302	4.0	7.0	5.0	5.0	8.9	2.3	11.6	69.5
		75歳以上	202	4.0	9.9	8.9	6.4	5.4	2.5	15.3	62.9
正組合員合計			5,803	14.5	15.8	12.2	8.8	7.5	2.7	10.4	54.2
全国平均				11.2	22.6	9.1	8.7	7.2	2.1	11.1	50.7

□ は各類型で最も高い割合(「意見を伝えるルートがない」「不明・無回答」を除く)

正組合員：役員経験(運営参画)

- 正組合員全体で、役員経験率は38%であり、全国平均を16ポイント下回る。
- 実際に経験したことのある役職(組合員組織の役員)を見ると、正組合員全体および多くの類型で「集落実行組合」が最多であり、次いで「総代」「青年部」となる。また「担い手経営体」においては「各種生産部会」が最も高く、「女性・65歳以上」では「女性部」が最も高い。
- 「担い手経営体」の役員経験率は79%と農業類型中で最も高い一方、「多様な担い手(販売なし)」の役員経験率は29%にとどまる。
- 性別・年齢別では、役員経験は男性優位であり、「男性・65～74歳」の役員経験率が最も高く50%である。

		(%)	N数	理事・監事	総代	集落実行組合	青年部	女性部	年金友の会	各種生産部会	青色申告会	支店運営委員会	経験なし	不明・無回答
農業類型	担い手経営体		225	8.4	34.2	39.6	24.4	1.8	3.1	45.3	17.8	8.0	17.8	3.6
	中核的担い手		444	5.6	25.9	39.0	16.9	1.6	3.8	23.9	11.7	6.5	32.7	3.8
	多様な担い手(販売あり)		2,506	2.1	12.2	29.5	5.7	0.7	3.9	2.8	1.7	1.2	53.9	4.0
	多様な担い手(販売なし)		1,624	0.8	5.6	20.5	3.8	1.1	2.9	0.9	1.0	0.6	66.5	4.4
性別・年齢	男性	49歳以下	363	0.3	2.5	9.9	6.6	0.3	0.3	6.1	0.3	1.4	73.8	5.2
		50歳～64歳	2,105	1.6	10.9	24.1	8.4	0.0	0.6	5.6	3.0	1.3	59.1	3.3
		65歳～74歳	1,778	3.3	17.2	37.3	7.1	0.2	5.3	7.4	4.0	2.5	43.9	5.7
		75歳以上	653	4.3	12.3	34.5	5.2	0.5	10.9	3.8	2.9	1.8	42.1	10.3
	女性	49歳以下	41	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	75.6	17.1
		50歳～64歳	277	0.0	2.2	7.2	0.0	4.7	1.1	0.4	0.0	0.4	79.1	6.9
		65歳～74歳	302	0.3	1.7	7.3	0.0	7.6	2.0	1.0	1.3	0.0	69.9	11.6
		75歳以上	202	0.5	1.0	3.0	0.0	8.9	1.5	0.5	0.0	0.0	70.8	15.8
正組合員合計			5,803	2.2	11.0	25.7	6.3	1.1	3.3	5.2	2.8	1.6	55.4	6.4

は各類型で最も高い割合(「経験なし」「不明・無回答」を除く)

	経験あり	経験なし	不明・無回答
全国平均	54.3	41.4	4.3

正組合員：JAに期待する役割

- 正組合員全体で、『農』（地域農業の振興等）への期待が最も高く63%であり、全国平均とほぼ同率である。次いで『食』（安心できる農産物、食料品の提供）と『金融』（身近で安心できる金融サービス）が36%で同率となっている。
- 農業類型別には全ての類型で、また性別・年齢別には「女性・75歳以上」を除く全ての類型で、『農』への期待が最も高い。
- 「担い手経営体」「中核的担い手」は『農』への期待が8割以上と高い水準にあるが、「多様な担い手（販売なし）」では50%に低下する。
- 「あまり期待しない」は11%で、全国平均を4ポイント上回る。

		(%)	N数	地域農業の振興、担い手経営の支援、農地の保全など、農業の支援	健康、福祉、介護を含む地域生活の幅広いサポート	身近で安心できる金融サービスの提供（資産管理や相続などの相談を含む）	安心できる農産物、食料品の提供	あまり期待しない	不明・無回答
農業類型	担い手経営体		225	85.8	34.7	53.8	42.7	4.4	5.3
	中核的担い手		444	87.4	34.5	46.4	43.9	4.7	4.3
	多様な担い手（販売あり）		2,506	70.1	34.8	37.0	38.3	8.8	6.8
	多様な担い手（販売なし）		1,624	49.8	37.3	32.3	32.2	15.1	9.1
性別・年齢	男性	49歳以下	363	68.3	27.8	38.3	34.7	9.6	6.9
		50歳～64歳	2,105	67.0	31.5	36.3	36.5	11.6	5.9
		65歳～74歳	1,778	65.2	36.4	37.1	37.1	10.8	8.3
		75歳以上	653	54.2	45.5	35.5	33.1	9.2	14.4
	女性	49歳以下	41	58.5	41.5	43.9	39.0	7.3	12.2
		50歳～64歳	277	57.8	35.0	40.8	45.1	9.7	5.4
		65歳～74歳	302	49.0	38.1	33.1	37.4	9.3	11.3
		75歳以上	202	40.1	43.6	24.8	28.2	14.4	14.4
正組合員合計			5,803	62.5	35.3	36.1	36.1	10.8	8.4
全国平均				63.6	36.4	40.2	45.4	7.1	6.2

は各類型で最も高い割合（「あまり期待しない」「不明・無回答」を除く）

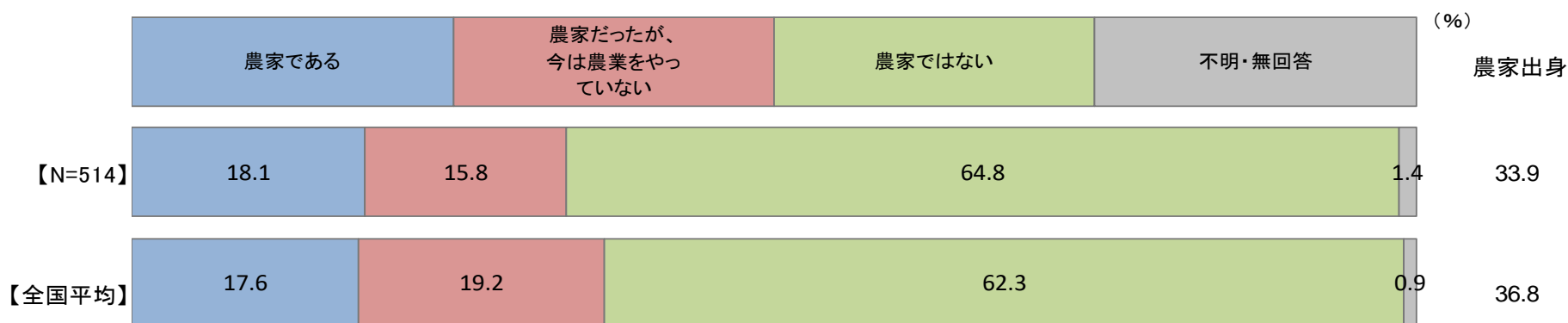
JAみやぎ登米 組合員アンケート調査結果

【准組合員編】

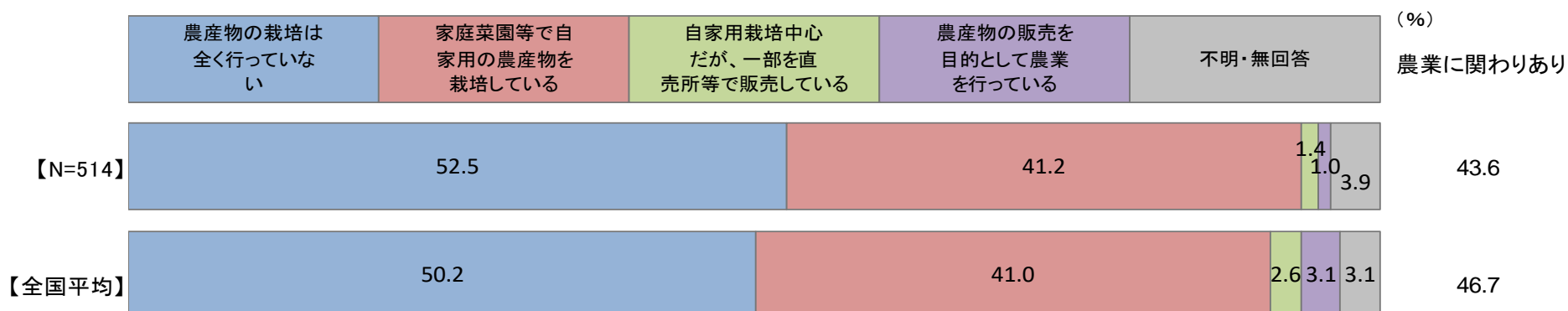
准組合員：農業との関わり(実態)

- 准組合員の構成は、農家出身者が34%で、全国平均を3ポイント下回る。
- 農業に関わりのある活動をしている者は44%で、全国平均を3ポイント下回る。
- 当JAの准組合員は、全国と比較して、農業との関わりを持つ割合が若干低くなっている。

農家出身かどうか



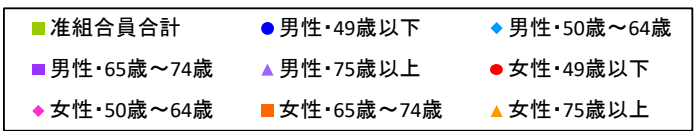
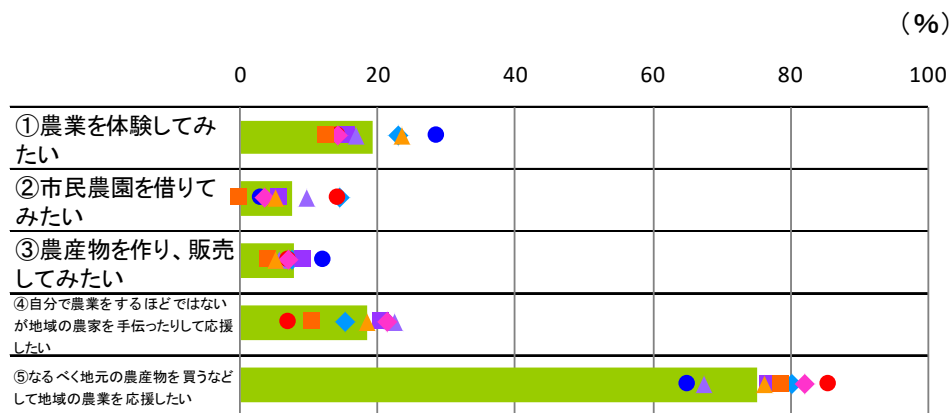
農業との関わり



准組合員：農業との関わり(意向)

○准組合員全体では、「地元農産物の購入等により地域農業の応援をしたい」意向のある者は75%であり、全国平均を2ポイント下回る。次いで、「農業を体験してみたい」者は19%で、全国平均を7ポイント下回る。

○「男性・64歳以下」「女性・75歳以上」は、農業体験への意向が2割以上とやや高い。また、「男性・65歳以上」「女性・50～64歳」は「地域の農家を手伝って応援したい」が2割以上とやや高い。



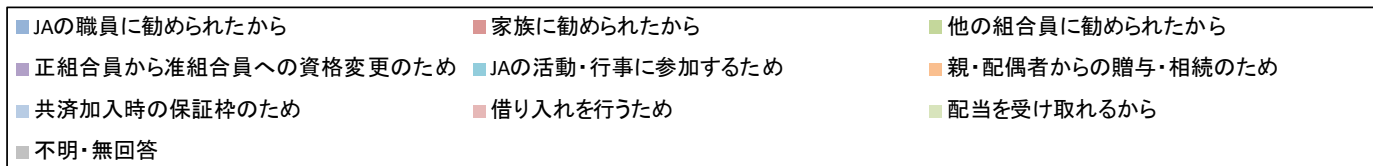
	准組合員合計 (N=514)	男性				女性				全国平均
		49歳以下 (N=66)	50歳～64歳 (N=117)	65歳～74歳 (N=121)	75歳以上 (N=71)	49歳以下 (N=14)	50歳～64歳 (N=28)	65歳～74歳 (N=47)	75歳以上 (N=38)	
①	19.3	28.8	23.1	15.7	16.9	14.3	14.3	12.8	23.7	26.2
②	7.4	3.0	14.5	5.8	9.9	14.3	3.6	0.0	5.3	8.5
③	7.8	12.1	7.7	9.1	5.6	7.1	7.1	4.3	5.3	10.6
④	18.3	21.2	15.4	20.7	22.5	7.1	21.4	10.6	18.4	16.7
⑤	75.3	65.2	80.3	76.9	67.6	85.7	82.1	78.7	76.3	77.6

 類型ごとの最高値
 類型ごとの2番目に高い数値

* 表・グラフの値は肯定率(「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」の合計)

准組合員：加入のきっかけ

- 准組合員全体では、「借り入れ」が最も多く36%、次いで「親・配偶者からの贈与・相続」「JAの職員の勧め」となっている。全国平均と比較すると、「借り入れ」による加入が16ポイント高く、「親・配偶者からの贈与・相続」も6ポイント高い一方、「JAの職員の勧め」は11ポイント低い。
- 男女ともに「49歳以下」は「借り入れ」をきっかけとした加入が7割以上と突出して高い。また、男女ともに「50～64歳」は「親・配偶者からの相続」が3割前後と多くなっている。
- 准組合員は「借り入れ」「相続」をきっかけとした加入者が多いことを念頭に、加入後の継続的な関与や事業・活動を展開することが、准組合員のメンバーシップ強化に向けて求められる。



	回答数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	
全体	514		15.2	3.5	4.5	3.3	4.3	21.6	6.4	36.2	1.2	3.9	
男性・49歳以下	66		6.1	7.6	1.5	7.6	1.5			72.7	1.5	1.5	
男性・50歳～64歳	117		13.7	0.9	3.4	2.6		29.1	6.0	39.3	0.9	4.3	
男性・65歳～74歳	121		17.4		5.0	4.1	3.3	5.0	19.0	6.6	34.7	1.7	3.3
男性・75歳以上	71		21.1		2.8	7.0	2.8	8.5	22.5	9.9	18.3	1.4	5.6
女性・49歳以下	14		14.3		7.1	7.1				71.4			
女性・50歳～64歳	28		7.1	3.6	10.7			35.7	7.1	32.1		3.6	
女性・65歳～74歳	47		10.6	4.3	6.4	6.4	10.6	23.4	6.4	25.5	2.1	4.3	
女性・75歳以上	38		23.7		5.3	10.5	10.5	26.3	10.5	7.9		5.3	
全国平均			25.9		6.0	3.8	2.3	5.5	16.3	8.8	20.1	2.0	6.7

准組合員：組合員組織への参加

- 准組合員の組合員組織への参加率は34%で、全国平均を4ポイント上回る。
- 准組合員全体では、「年金友の会」への参加が20%と最も高く、次いで「集落実行組合」が19%である。
- 男女ともに「65歳以上」で「年金友の会」への参加率が高く、また「50歳以上」で「集落実行組合」への参加率が高まる傾向であるが、「49歳以下」では9割以上が組合員組織に参加していない。

		(%)	N数	集落実行組合	青年部	女性部	年金友の会	各種生産部会	青色申告会	支店運営委員会	参加していない	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	66	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	90.9	0.0
		50歳～64歳	117	19.7	1.7	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	76.1	0.0
		65歳～74歳	121	20.7	0.8	0.0	28.1	0.8	0.8	0.0	57.9	0.8
		75歳以上	71	21.1	0.0	0.0	26.8	0.0	1.4	0.0	53.5	4.2
	女性	49歳以下	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9	0.0
		50歳～64歳	28	17.9	0.0	7.1	17.9	0.0	0.0	0.0	67.9	0.0
		65歳～74歳	47	17.0	0.0	10.6	40.4	0.0	0.0	0.0	46.8	2.1
		75歳以上	38	28.9	0.0	7.9	36.8	0.0	2.6	0.0	36.8	2.6
准組合員合計		514	18.5	1.2	2.1	19.6	0.2	0.6	0.2	63.8	1.8	

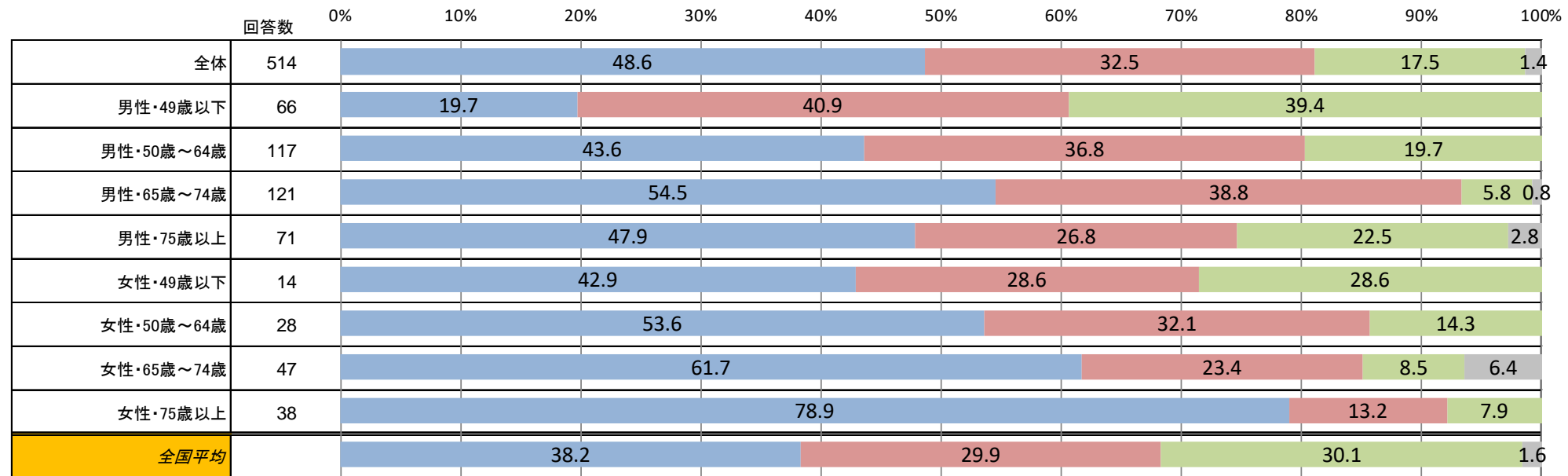
は各類型で最も高い割合(「参加していない」「不明・無回答」を除く)

	参加あり	参加なし	不明・無回答
全国平均	30.3	66.8	2.9

准組合員：広報誌「米にけーしょん」の閲読状況

○広報誌を読んでいる准組合員は81%であり、正組合員と比較すると10ポイント低いものの、全国平均と比較すると13ポイント高い。当JAの広報誌は准組合員にもよく読まれているといえる。
 ○閲読率は「男性・65～74歳」で93%、「女性・75歳以上」で92%と高く、「男性・49歳以下」で最も低く61%である。

■ 毎月読んでいる ■ 時々読んでいる ■ 読んでいない ■ 不明・無回答



准組合員：JA施設の利用頻度

- 准組合員全体および全ての類型で、「支店」と「ガソリンスタンド、カーライフセンター」がJAとの有効な接点となっている。
- 月に複数回「支店」を利用する准組合員は36%であり、全国平均とほぼ同率である。一方、「Yショップ・直売所」の利用頻度は全国平均を大きく下回る。
- 「最も顔なじみの職員」の設問では、「支店長」「支店の窓口職員」が合わせて16%、「金融・共済の訪問担当者」が17%、「ガソリンスタンド、カーライフセンターの職員」が11%である。一方、「顔なじみの職員はいない」と回答した准組合員は36%である。(単純集計より)

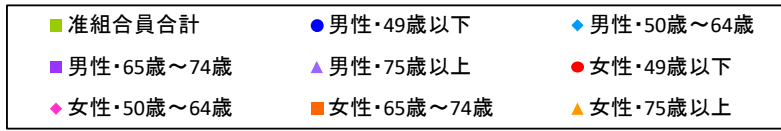
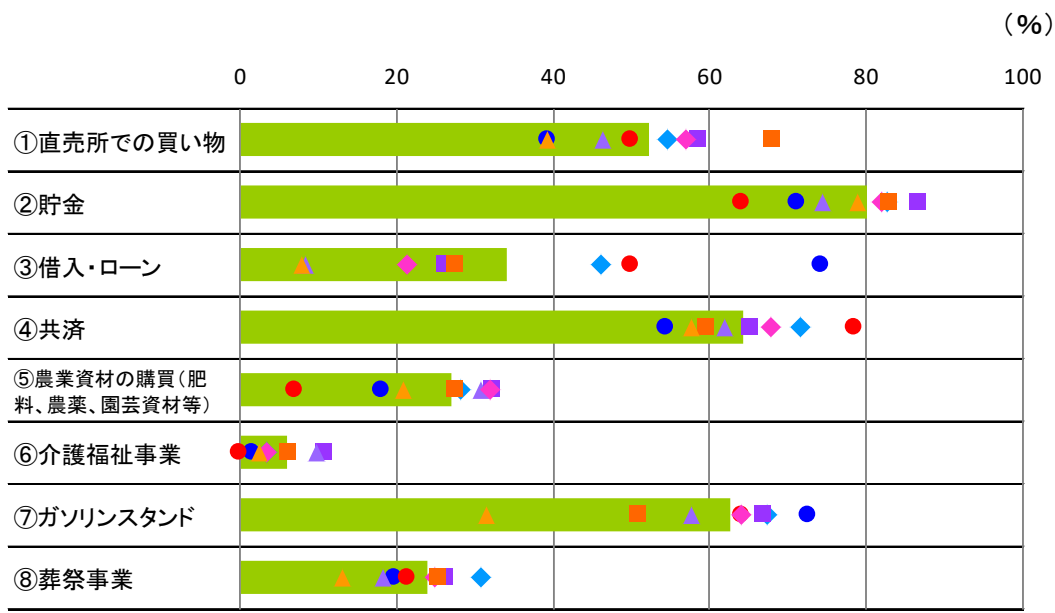
(%または点)	准組合員合計 (N=514)	男性												女性														
		49歳以下 (N=66)			50歳～64歳 (N=117)			65歳～74歳 (N=121)			75歳以上 (N=71)			49歳以下 (N=14)			50歳～64歳 (N=28)			65歳～74歳 (N=47)			75歳以上 (N=38)					
		週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度	週に 数回	月に 数回	利用 度
①	本店	0.8	7.4	1.3	1.5	10.6	1.6	0.0	8.5	1.6	0.0	8.3	1.2	1.4	4.2	0.9	7.1	7.1	2.4	0.0	10.7	1.2	2.1	6.4	1.4	0.0	0.0	0.4
②	支店	3.1	33.3	3.8	4.5	30.3	3.9	0.9	35.0	3.7	2.5	33.9	3.9	5.6	29.6	3.8	14.3	7.1	3.8	0.0	28.6	3.3	6.4	40.4	4.3	0.0	34.2	3.5
③	支店営農経済センター、JAグリーン、農機センター	0.8	6.6	1.2	3.0	4.5	1.2	0.0	7.7	1.2	0.0	9.1	1.4	1.4	1.4	0.9	0.0	0.0	1.2	3.6	3.6	1.7	0.0	12.8	1.9	0.0	7.9	0.8
④	集出荷施設、有機センター	0.6	0.8	0.3	3.0	1.5	0.6	0.0	1.7	0.2	0.0	0.8	0.4	1.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
⑤	Yショップ・直売所	1.6	8.2	1.6	1.5	12.1	1.8	1.7	5.1	1.6	0.8	12.4	1.9	2.8	2.8	1.2	0.0	7.1	1.9	0.0	3.6	0.8	2.1	12.8	2.1	0.0	7.9	1.0
⑥	ガソリンスタンド、カーライフセンター	10.5	30.4	3.7	7.6	28.8	3.8	12.0	35.0	4.2	10.7	35.5	4.0	7.0	25.4	2.9	28.6	14.3	4.7	14.3	21.4	3.7	10.6	31.9	3.5	5.3	18.4	1.9
	支店・支所 全国平均	3.8	31.4	3.9																								
	直売所(買い物利用) 全国平均	9.7	29.1	3.9																								

□ 類型ごとの最高値

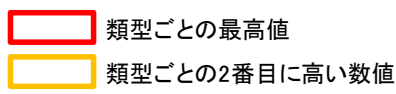
□ 類型ごとの2番目に高い数値

准組合員：事業利用

- 准組合員全体で事業利用は「貯金」が80%で最も高く、次いで「共済」が64%、「ガソリンスタンド」が63%である。
- 男女ともに「50歳以上」の類型で「貯金」の利用が最も高い。一方、「男性・49歳以下」では「借入・ローン」の利用が74%で最も高く、「女性・49歳以下」では「共済」の利用が79%で最も高い。
- 「ガソリンスタンド」は男女ともに若年齢層で利用率が高く、「男性・49歳以下」は73%、「女性・49歳以下」は64%の利用率である。
- 「女性・65～74歳」で「直売所での買い物」が68%と高く、「貯金」に次ぐ利用率になっている。
- 貯金を利用する理由として、63%が「店舗が近い」、19%が「JAへの親近感」と回答している。（単純集計より）



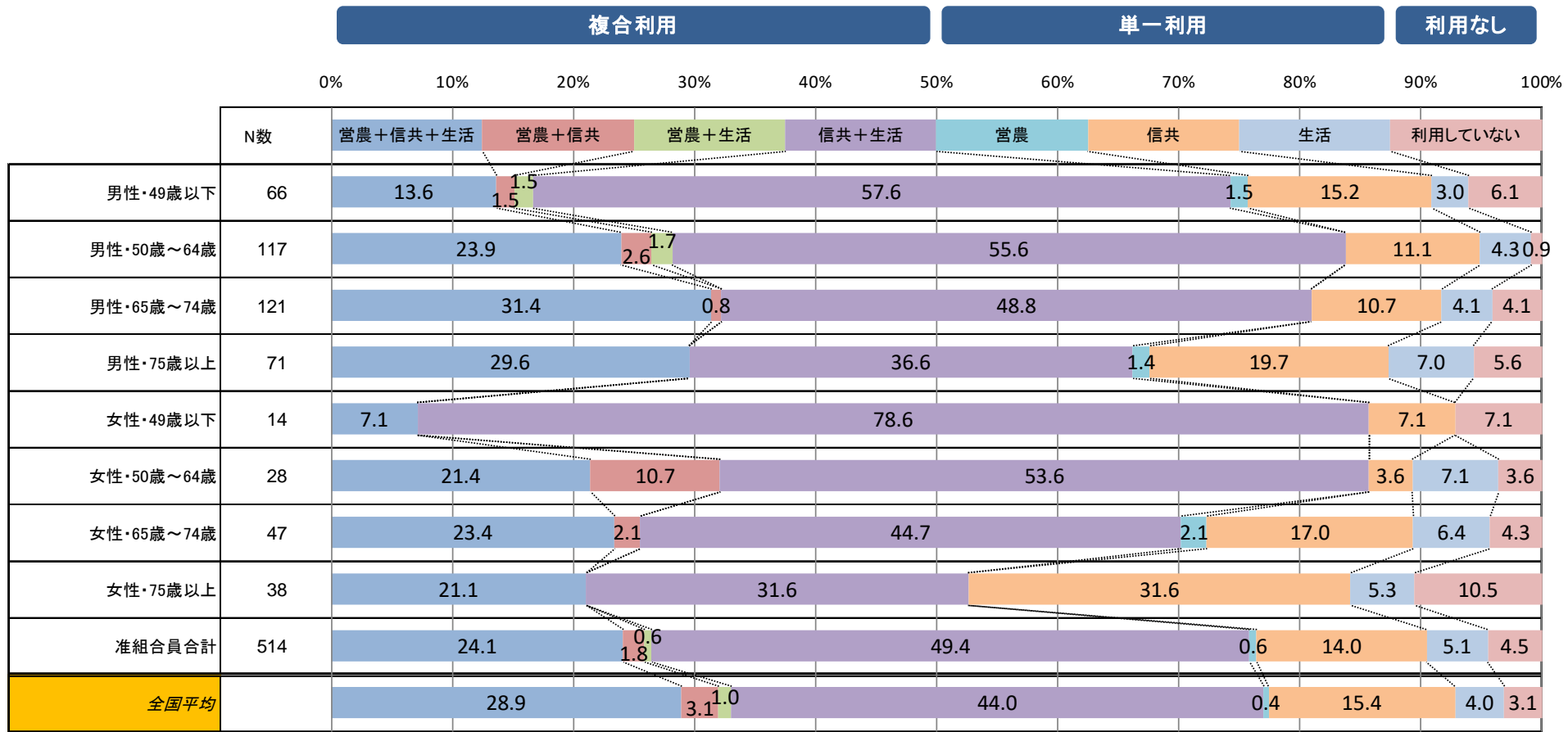
	准組合員合計 (N=514)	男性				女性			
		49歳以下 (N=66)	50歳～64歳 (N=117)	65歳～74歳 (N=121)	75歳以上 (N=71)	49歳以下 (N=14)	50歳～64歳 (N=28)	65歳～74歳 (N=47)	75歳以上 (N=38)
①	52.3	39.4	54.7	58.7	46.5	50.0	57.1	68.1	39.5
②	80.2	71.2	82.9	86.8	74.6	64.3	82.1	83.0	78.9
③	34.0	74.2	46.2	26.4	8.5	50.0	21.4	27.7	7.9
④	64.2	54.5	71.8	65.3	62.0	78.6	67.9	59.6	57.9
⑤	27.0	18.2	28.2	32.2	31.0	7.1	32.1	27.7	21.1
⑥	6.0	1.5	3.4	10.7	9.9	0.0	3.6	6.4	2.6
⑦	62.6	72.7	67.5	66.9	57.7	64.3	64.3	51.1	31.6
⑧	23.9	19.7	30.8	26.4	18.3	21.4	25.0	25.5	13.2



* グラフの値は頻度に関わらずJAを「利用している」と回答した割合

准組合員：事業の複合利用

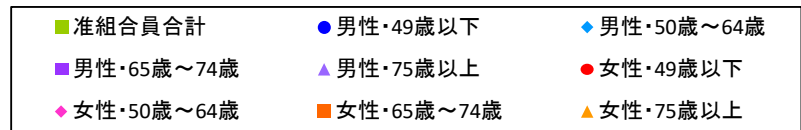
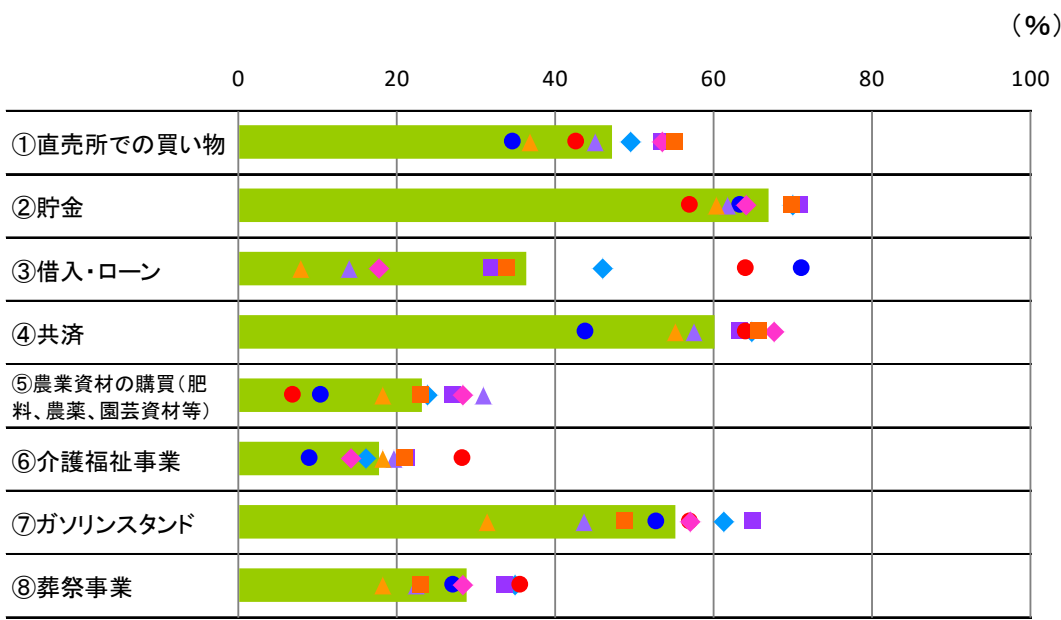
○准組合員全体では、事業の複合利用は76%であり、「営農+信共+生活」は24%、「信共+生活」は49%である。
 ○全国平均と比較すると、事業の複合利用率は3ポイント低く、「営農+信共+生活」は5ポイント低く、「信共+生活」は5ポイント高い。信用事業をきっかけとして加入した准組合員に対して、主に「ガソリンスタンド」が効果を発揮していると考えられる。
 ○「信共」単一利用の割合は、「男性・49歳以下」「男性・75歳以上」「女性・65～74歳」「女性・75歳以上」でそれぞれ15%以上と高い。これらの類型に対する複合利用の拡大に向けた働きかけが必要である。



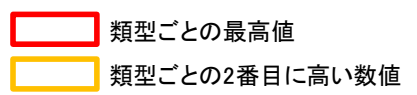
* 営農：農業資材の購買(肥料、農薬、園芸資材等)
 * 信共：貯金、借入・ローン、共済
 * 生活：直売所での買い物、介護福祉事業、ガソリンスタンド、葬祭事業

准組合員：今後の事業利用意向

- 准組合員全体で、今後の利用意向が最も高い事業は「貯金」、次いで「共済」であり、いずれも6割を超えている。
- 類型別にみても、ほぼ全ての類型において「貯金」「共済」が上位2位を占めているが、男女ともに「49歳以下」では「借入・ローン」、「男性・65～74歳」「女性・49歳以下」では「ガソリンスタンド」が高い。
- 現時点での利用実態(p.45)と今後の利用意向を比較すると、「介護福祉事業」では准組合員全体および全ての類型で利用意向が利用実態を上回り、今後の事業の利用拡大が期待できる。准組合員全体は12ポイント、また「男性・49歳以下」を除き全ての類型で10ポイント以上利用意向が上回る。
- 「葬祭事業」についても、准組合員全体で利用意向が利用実態を5ポイント上回り、類型別にも「女性・65～74歳」を除く全ての類型で、4～14ポイント利用意向が上回る。
- 「貯金」については、准組合員全体および全ての類型で利用意向が利用実態を下回り、事業の縮小が懸念される。准組合員全体では13ポイント、男女ともに「50歳以上」ではいずれも10ポイント以上利用意向が下回っている。



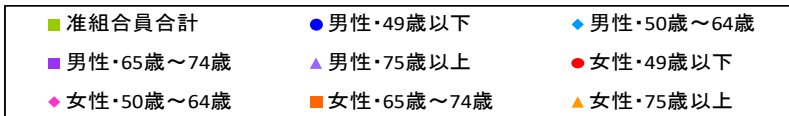
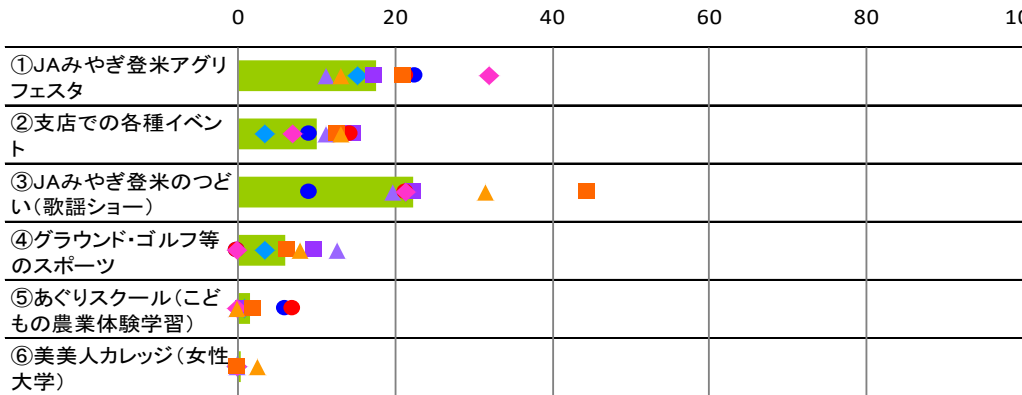
准組合員 合計 (N=514)	男性				女性				
	49歳以下 (N=66)	50歳～64 歳 (N=117)	65歳～74 歳 (N=121)	75歳以上 (N=71)	49歳以下 (N=14)	50歳～64 歳 (N=28)	65歳～74 歳 (N=47)	75歳以上 (N=38)	
①	47.3	34.8	49.6	53.7	45.1	42.9	53.6	55.3	36.8
②	66.9	63.6	70.1	71.1	62.0	57.1	64.3	70.2	60.5
③	36.4	71.2	46.2	32.2	14.1	64.3	17.9	34.0	7.9
④	60.1	43.9	65.0	63.6	57.7	64.3	67.9	66.0	55.3
⑤	23.2	10.6	23.9	27.3	31.0	7.1	28.6	23.4	18.4
⑥	17.7	9.1	16.2	21.5	19.7	28.6	14.3	21.3	18.4
⑦	55.3	53.0	61.5	65.3	43.7	57.1	57.1	48.9	31.6
⑧	28.8	27.3	35.0	33.9	22.5	35.7	28.6	23.4	18.4



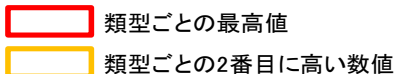
准組合員：活動の参加

- 准組合員全体で参加率の最も高い活動は「JAみやぎ登米のつどい(歌謡ショー)」で22%、次いで「JAみやぎ登米アグリフェスタ」が18%となっている。
- 類型別にみても、ほぼ全ての類型で上記の2つが上位2位を占めているが、「男性・75歳以上」では「JAみやぎ登米のつどい(歌謡ショー)」に次いで「グラウンド・ゴルフ等のスポーツ」の参加率が高い。
- 「グラウンド・ゴルフ等のスポーツ」「あぐりスクール(こどもの農業体験学習)」「美美人カレッジ(女性大学)」については、准組合員の過半が「知らない」と回答しており、活動の周知が課題である。(単純集計より)

* 各設問で「参加している」と回答した割合 (%)



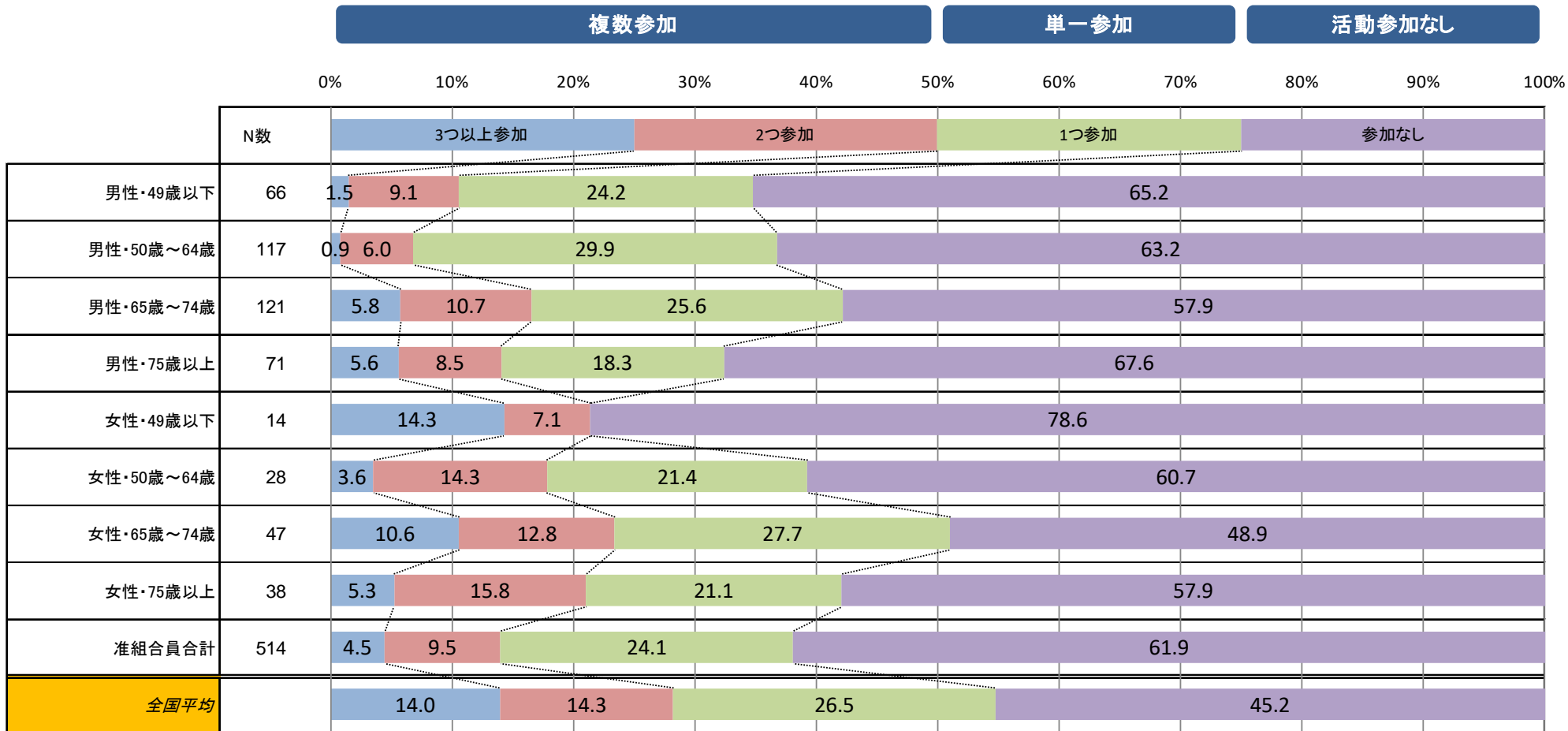
	准組合員合計 (N=514)	男性				女性			
		49歳以下 (N=66)	50歳～64歳 (N=117)	65歳～74歳 (N=121)	75歳以上 (N=71)	49歳以下 (N=14)	50歳～64歳 (N=28)	65歳～74歳 (N=47)	75歳以上 (N=38)
①	17.5	22.7	15.4	17.4	11.3	21.4	32.1	21.3	13.2
②	9.9	9.1	3.4	14.9	11.3	14.3	7.1	12.8	13.2
③	22.4	9.1	21.4	22.3	19.7	21.4	21.4	44.7	31.6
④	6.0	0.0	3.4	9.9	12.7	0.0	0.0	6.4	7.9
⑤	1.6	6.1	0.9	0.8	0.0	7.1	0.0	2.1	0.0
⑥	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6



准組合員：活動の複数参加

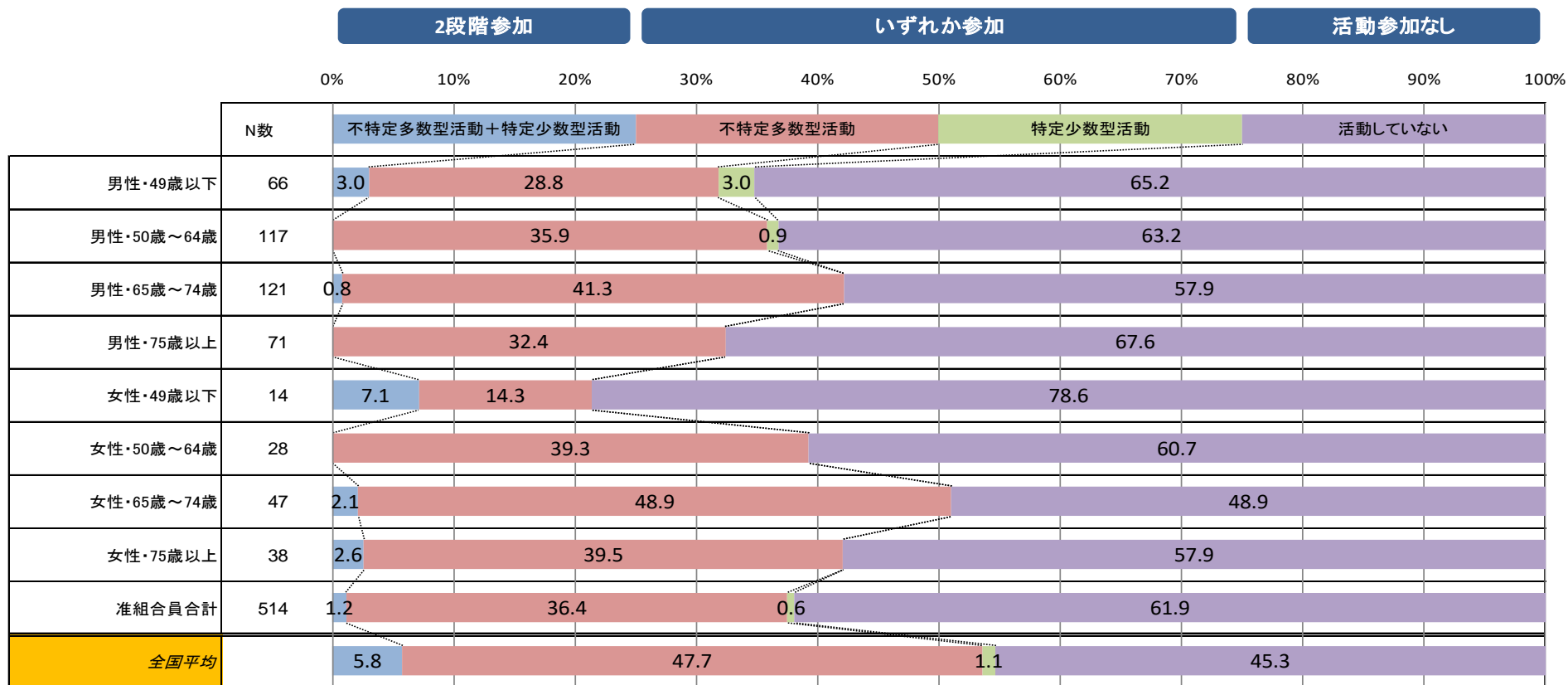
○准組合員全体では、活動の複数参加率は14%であり、単一参加は24%、活動参加なしは62%である。全国平均と比較すると、活動の複数参加率は14ポイント低く、単一参加を含む活動参加率は17ポイント低い。

○当JAでは准組合員の活動参加が低調であり、複数参加も進んでいないことから、類型別のニーズをとらえた活動の企画・実践ならびに活動の周知・呼びかけに取り組んでいただきたい。



准組合員：活動の2段階参加

- 准組合員全体では、活動の2段階参加は1%、いずれか参加は37%、活動参加なしは62%である。全国平均と比較して、活動の2段階参加率は5ポイント低く、いずれか参加は12ポイント低い。
- 2段階参加率は、男女ともに「49歳以下」でやや高くなっており、「あぐりスクール(こどもの農業体験学習)」が効いているが、「美美人カレッジ(女性大学)」については「女性・75歳以上」を除き参加はみられない。
- 当JAでは准組合員の活動の2段階参加が低調であることから、不特定多数型活動の活性化とあわせ、特定少数型活動の企画・実践についても課題である。



* 不特定多数型活動: JAみやぎ登米アグリフェスタ、支店での各種イベント、JAみやぎ登米のつどい(歌謡ショー)、グラウンド・ゴルフ等のスポーツ
 * 特定少数型活動: あぐりスクール(こどもの農業体験学習)、美美人カレッジ(女性大学)

准組合員：JAに期待する活動

- 准組合員全体では、「高齢者の生きがいづくり」「地域環境をよくするための活動」への期待が高く2割を超える。
- 「特にない」は25%で、全国平均を6ポイント上回る。
- 「男性・49歳以下」では「子供たちへの農業体験」、「女性・49歳以下」および男女ともに「50～64歳」では「地域環境をよくする活動」、「女性・50～64歳」では「料理教室」、男女ともに「65歳以上」では「高齢者の生きがいづくり」、「女性・75歳以上」では「介護や福祉に関わる活動」への期待が高い。

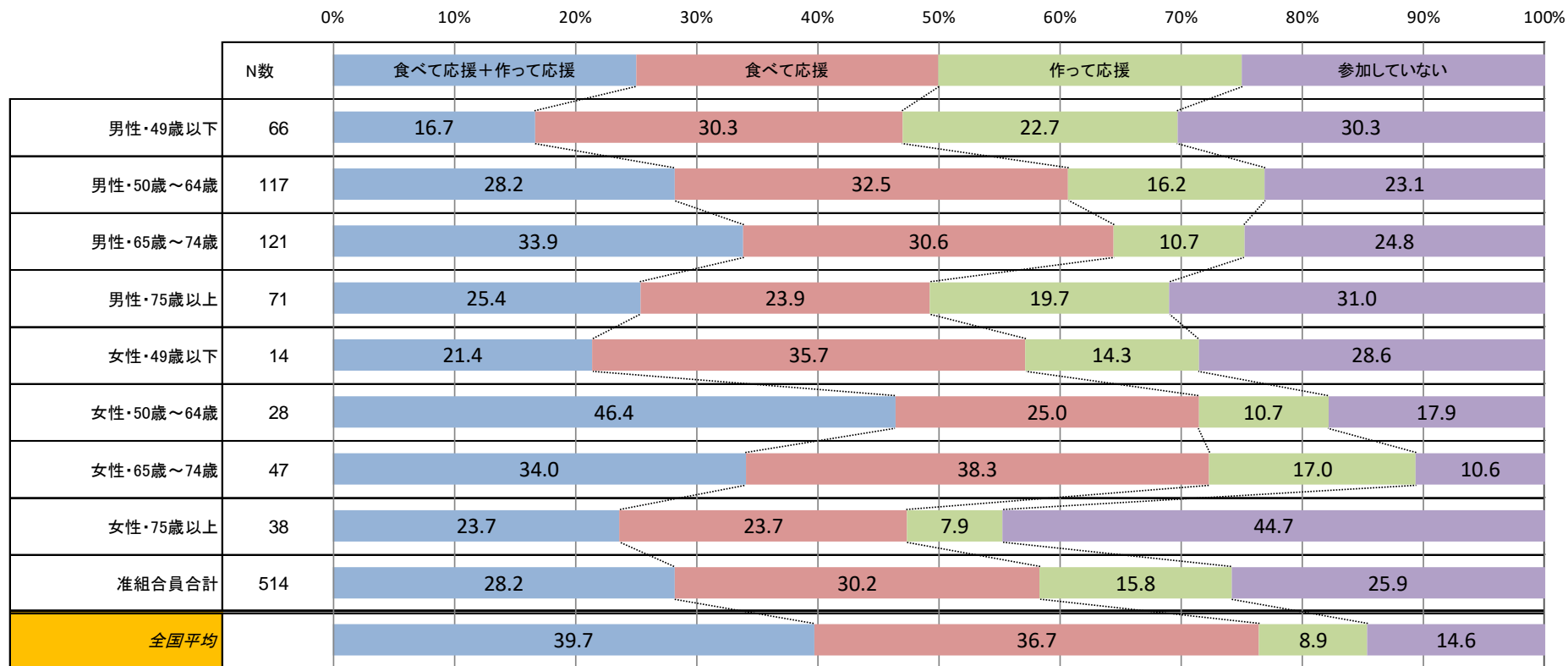
			(%)	N数	園芸塾等の栽培技術を学ぶ講座	農業所得の向上や起業のためのビジネス講座	有志による技術開発のサポート	市民農園・体験型農園	子供たちへの農業体験(食農教育)	料理・農産物加工等の教室	地域の皆が集まれるお祭り等のイベント	旅行・コンサートなどのレクリエーションイベント	趣味等に応じて仲間が集まれるサークル活動	高齢者の生きがいづくりのための活動	介護や福祉に関わる活動	地域環境をよくするための活動	その他	特にない	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	66	9.1	15.2	4.5	12.1	31.8	3.0	24.2	1.5	6.1	7.6	9.1	21.2	6.1	28.8	4.5	
		50歳～64歳	117	14.5	14.5	6.8	9.4	19.7	9.4	18.8	17.9	12.8	14.5	14.5	21.4	1.7	23.9	2.6	
		65歳～74歳	121	12.4	7.4	5.0	9.1	14.0	9.1	14.9	12.4	8.3	25.6	15.7	19.0	3.3	28.9	5.8	
		75歳以上	71	12.7	5.6	2.8	8.5	11.3	5.6	15.5	12.7	4.2	39.4	22.5	21.1	1.4	19.7	8.5	
	女性	49歳以下	14	14.3	14.3	0.0	7.1	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	7.1	21.4	42.9	7.1	21.4	0.0	
		50歳～64歳	28	17.9	17.9	10.7	7.1	7.1	25.0	0.0	17.9	3.6	10.7	3.6	25.0	3.6	32.1	7.1	
		65歳～74歳	47	10.6	2.1	0.0	0.0	8.5	19.1	21.3	14.9	12.8	29.8	10.6	17.0	0.0	27.7	8.5	
		75歳以上	38	7.9	0.0	0.0	5.3	0.0	15.8	7.9	23.7	15.8	34.2	42.1	23.7	2.6	18.4	7.9	
准組合員合計			514	12.5	9.5	4.5	8.8	16.0	10.1	16.0	13.6	9.1	22.4	16.7	21.0	2.7	25.1	6.0	
全国平均				16.5	6.8	2.6	6.7	14.9	15.0	17.1	17.3	11.1	24.5	15.0	18.0	2.2	19.3	7.0	

□ は各類型で最も高い割合(「特にない」「不明・無回答」を除く)

准組合員：農業振興の応援団

○准組合員全体で「食べて応援＋作って応援」は28%で、全国平均を12ポイント下回る。また、「食べて応援」の実践者は58%で、全国平均を18ポイント下回る。

○准組合員は「食べて応援」「作って応援」の活動に参加者を拡大していくことで、メンバーシップの強化が期待できる。当JAでは「参加していない」が26%と高いことから、この類型を「食べて応援」「作って応援」へと誘導していくことが課題である。准組合員のメンバーシップ強化に向け、「JAみやぎ登米アグリフェスタ」への参加促進や直売所の利用促進、農業体験の企画・実施などに注力していただきたい。



* 食べて応援：直売所での買い物、JAみやぎ登米アグリフェスタ

* 作って応援：家庭菜園等で自家用の農産物を栽培している、自家用栽培中心だが、一部を直売所等で販売している農産物の販売を目的として農業を行っている、あぐりスクール(こどもの農業体験学習)

准組合員：会合への出席（意思反映）

○准組合員全体では、意思反映のための会合出席率は19%であり、全国平均を6ポイント上回る。
 ○准組合員全体および全ての類型で、「集落座談会」への出席率が最も高い。

		(%)	N数	総代会	支店運営委員会、 総代・実行組合長 合同説明会	集落座談会	いずれも参加した ことがない	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	66	3.0	1.5	13.6	86.4	0.0
		50歳～64歳	117	1.7	0.9	13.7	84.6	0.9
		65歳～74歳	121	0.0	0.8	20.7	76.0	2.5
		75歳以上	71	2.8	1.4	21.1	74.6	2.8
	女性	49歳以下	14	0.0	0.0	21.4	78.6	0.0
		50歳～64歳	28	3.6	0.0	7.1	89.3	3.6
		65歳～74歳	47	8.5	0.0	21.3	68.1	6.4
		75歳以上	38	5.3	2.6	18.4	68.4	5.3
准組合員合計			514	2.5	1.0	17.3	78.2	2.9

17.3 は各類型で最も高い割合（「いずれも参加したことがない」「不明・無回答」を除く）

	参加あり	参加なし	不明・無回答
全国平均	12.5	84.7	2.8

准組合員：意思反映ルート

- 准組合員全体では、「職員を通じて」の割合が最も高く12%であり、全国平均を3ポイント下回る。
- 類型別にみても、ほぼ全ての類型で「職員を通じて」の割合が最も高いが、「男性・49歳以下」「女性・50～64歳」では「メールやウェブを通じて」が最も高い。
- 准組合員の21%がJAに「意見を伝えるルートがない」と回答しており、全国平均を3ポイント上回る。今後、准組合員のうち希望者が自らの声をJAに届けることのできるルートの整備が必要である。

			(%)	N数	総代会やJAの各種会合を通じて	職員を通じて	役員を通じて	部会などの組織を通じて	広報誌等のアンケートを通じて	メールやウェブを通じて	意見を伝えるルートがない	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	66	4.5	12.1	4.5	3.0	9.1	16.7	31.8	37.9	
		50歳～64歳	117	1.7	10.3	3.4	2.6	8.5	4.3	23.9	53.0	
		65歳～74歳	121	3.3	9.9	4.1	3.3	8.3	1.7	17.4	62.0	
		75歳以上	71	5.6	15.5	11.3	7.0	7.0	5.6	23.9	46.5	
	女性	49歳以下	14	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	21.4	50.0	
		50歳～64歳	28	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4	67.9	
		65歳～74歳	47	2.1	10.6	2.1	2.1	8.5	0.0	12.8	68.1	
		75歳以上	38	7.9	23.7	5.3	7.9	0.0	0.0	10.5	55.3	
准組合員合計			514	3.7	12.1	5.1	3.7	7.2	5.1	21.0	54.3	
全国平均				2.2	15.2	3.0	2.2	7.0	2.7	18.1	57.7	

□ は各類型で最も高い割合（「意見を伝えるルートがない」「不明・無回答」を除く）

准組合員：役員経験(運営参画)

- 准組合員全体では、役員経験率は7%で、全国平均を4ポイント下回る。
- 准組合員全体では、「年金友の会」の役員経験率が2%で最も高い。
- 「女性・65～74歳」および男女ともに「75歳以上」で「年金友の会」における役員経験率が高い。また、女性では「女性部」、「男性・49歳以下」では「青年部」、「男性・50～64歳」「男性・65～74歳」では「集落実行組合」についても少数ではあるが役員経験者が確認できる。

		(%)	N数	理事・監事	総代	集落実行組合	青年部	女性部	年金友の会	各種生産部会	青色申告会	支店運営委員会	経験なし	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	66	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5	1.5
		50歳～64歳	117	0.9	0.0	4.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.0	0.9
		65歳～74歳	121	0.0	0.0	1.7	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	91.7	4.1
		75歳以上	71	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	8.5	1.4	2.8	0.0	84.5	2.8
	女性	49歳以下	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		50歳～64歳	28	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9	3.6
		65歳～74歳	47	0.0	0.0	2.1	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	83.0	6.4
		75歳以上	38	0.0	0.0	2.6	0.0	7.9	5.3	0.0	0.0	0.0	76.3	10.5
准組合員合計		514	0.4	0.0	1.8	1.0	1.4	2.1	0.4	0.4	0.0	89.5	3.9	

は各類型で最も高い割合(「経験なし」「不明・無回答」を除く)

	経験あり	経験なし	不明・無回答
全国平均	11.4	84.2	4.4

准組合員：JAに期待する役割

- 准組合員全体では、『食』（安心できる農産物、食料品の提供）への期待が57%と最も高いものの、全国平均を7ポイント下回る。次いで、『農』（地域農業の振興等）が47%で、全国平均を2ポイント上回る。
- 類型別には、多くの類型において『食』が最も高いが、「男性・64歳以下」では『農』が『食』を上回る。
- 「あまり期待しない」は11%で、全国平均を5ポイント上回り、准組合員からの期待はやや低位の傾向にある。

		(%)	N数	地域農業の振興、担い手経営の支援、農地の保全など、農業の支援	健康、福祉、介護を含む地域生活の幅広いサポート	身近で安心できる金融サービスの提供（資産管理や相続などの相談を含む）	安心できる農産物、食料品の提供	あまり期待しない	不明・無回答
性別・年齢	男性	49歳以下	66	59.1	16.7	43.9	57.6	10.6	1.5
		50歳～64歳	117	59.8	30.8	43.6	55.6	8.5	1.7
		65歳～74歳	121	43.0	43.0	39.7	55.4	15.7	5.0
		75歳以上	71	35.2	53.5	31.0	59.2	11.3	2.8
	女性	49歳以下	14	35.7	42.9	57.1	57.1	7.1	0.0
		50歳～64歳	28	39.3	21.4	39.3	64.3	17.9	7.1
		65歳～74歳	47	34.0	48.9	36.2	59.6	6.4	6.4
		75歳以上	38	47.4	50.0	42.1	60.5	7.9	5.3
准組合員合計		514	47.3	38.3	40.3	57.4	10.9	3.7	
全国平均			45.5	40.2	42.6	64.5	5.6	4.9	

□ は各類型で最も高い割合（「あまり期待しない」「不明・無回答」を除く）